金沢大学

2009年度学生生活調査

結果報告書

金沢大学学生部

目次

調査概要 …… 1

第１章. 調査対象者属性 …… 4

第2章. 調査結果詳細

Ⅰ. 支出関連

1. 通常の生活費用以外の大きな出費 …… 10
2. 通常の1ヶ月の支出額について …… 11
3. 通常1ヶ月の各種支出についての気持ち＜負担度＞ …… 13
4. 通常１ヶ月の各種支出についての行動＜負担軽減のための行動＞ …… 14
5. 通常1ヶ月の各種支出についての気持ち＜増やしたいと思う＞ …… 15
6. 通常１ヶ月の各種支出についての行動＜増やそうと行動している＞ …… 16

Ⅱ. 収入関連

1. 通常の1ヶ月の収入額 …… 20
2. 収入についての現在の気持ち …… 22
3. 収入についての行動 …… 23
4. 「家庭からの仕送り」についての保護者等の負担感 …… 24
5. 「住宅に関する費用」の保護者等の支払いの有無 …… 25
6. 仕送り・大学の授業料・住居に関する費用全てについて
保護者等の負担感の程度 …… 26

Ⅲ. 経済環境の変化による影響について

1. 今後の経済環境から考えられる支障の程度 …… 30

Ⅳ. アルバイトについて

1. 通常の1ヶ月のアルバイト活動の頻度 …… 34
2. アルバイト平均日数／平均時間 …… 35
3. アルバイト活動により何かしらの支障が生じている対象 …… 36

Ⅴ. 金沢大学の施設や計画・制度について

1. 本学への全体満足度 …… 40
2. 本学の福利厚生施設等の利用状況 …… 41
3. 本学の福利厚生施設等の満足度 …… 42
4. 本学の福利厚生施設等の不満足度 …… 43
5. 本学の施設・制度等の認知状況 …… 44
6. 本学の施設・制度等の利用状況 …… 45
7. 本学の施設・制度等の興味・関心度 …… 46
8. 本学の施設・制度等の今後の利用意向度 …… 47

Ⅵ. 卒業後の進路について

1. 学域・学類卒業後に考えられる進路 …… 50
2. 本学の就職支援や情報提供に対する期待度 …… 51
3. 納得のいく就職活動のために必要な本学からの支援について …… 52

Ⅶ. 海外留学・渡航について

1. 本学入学後の海外旅行・渡航経験の有無 …… 56
2. 留学や語学研修の形態 …… 57
3. 今後、本学在学中に海外旅行・渡航内容として検討してもよいもの …… 58
4. 留学等を検討する上で、不安に思うことや不十分だと感じていること …… 59

第３章. 総括 …… 62

調査概要

■調査の目的
・金沢大学の学生を対象に、生活に関する意識や生活実態を把握する調査を実施。
今後の学生生活への支援計画・体制等を検討するための基礎資料とする。

■調査対象者
・金沢大学全1～2年生（3,635名）

■調査方法
・質問紙を用いた自記入式調査

■スケジュール
・調査票配布・回収：2009年9月24日（木）～10月19日（月）
・入力・集計：2009年10月20日（火）～2010年1月21日（木）
・分析・レポーティング：2009年12月21日（月）～2010年1月21日（木）

■回収数
・549件（回収率：15.1％）

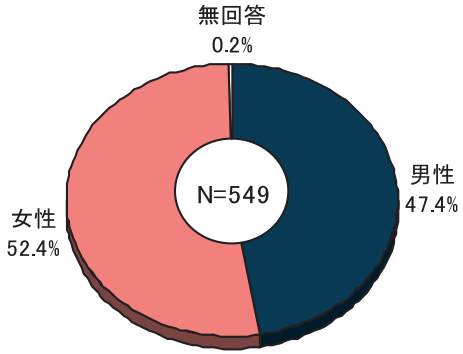
■調査主体
・金沢大学

■集計・分析協力
株式会社博報堂
株式会社コミュニケーション科学研究所

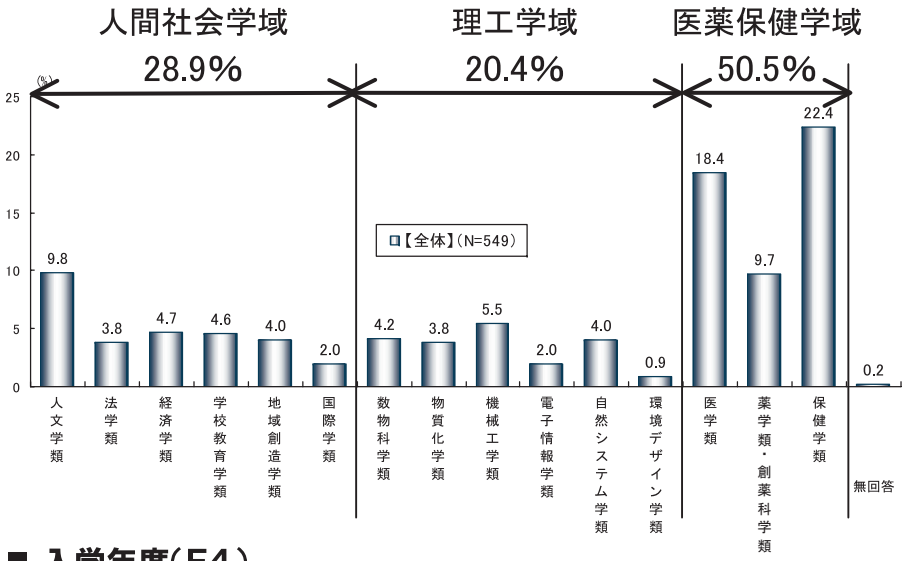
第1章. 調査対象者の属性

性別／所属学類／入学形態／入学年度

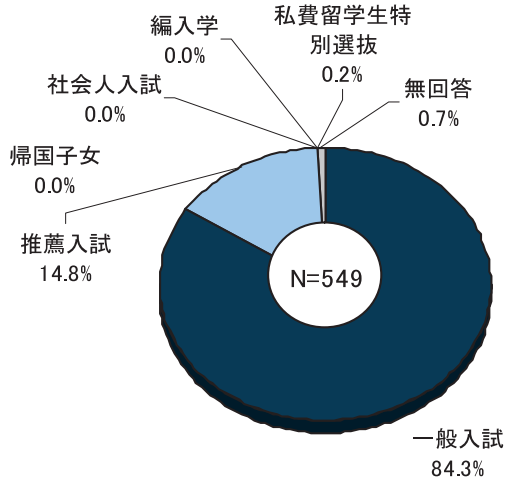
■ 性別（F1）



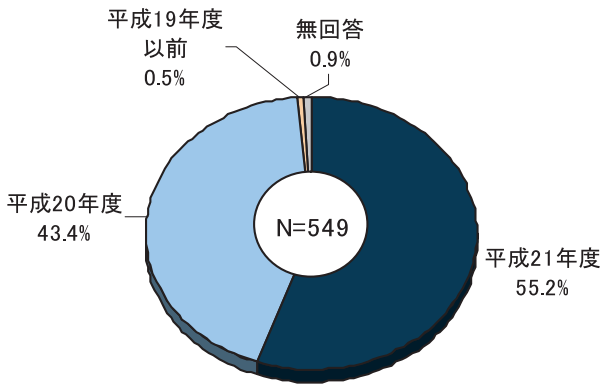
■ 所属学類（F2）



■ 入学形態（F3）

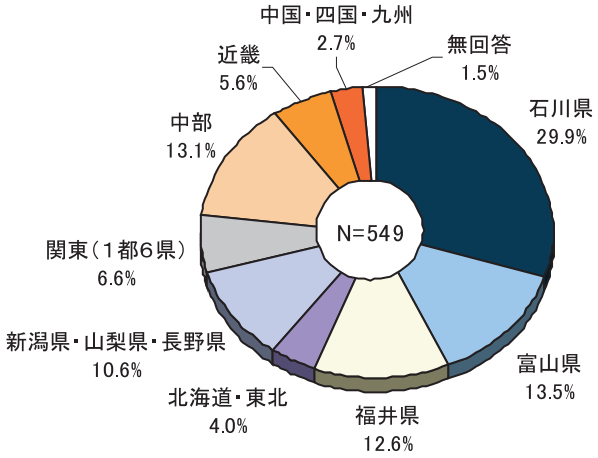


■ 入学年度（F4）

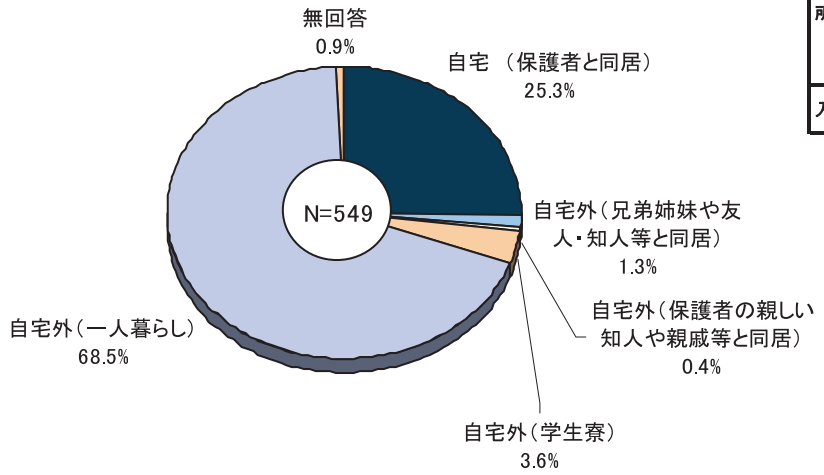


出身高校所在地／住居形態／入学が決定した時の気持ち

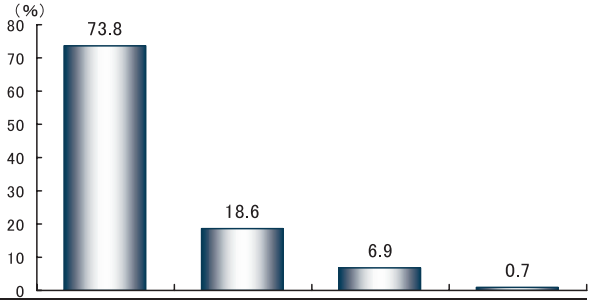
■ 出身高校所在地（F5）



■ 住居形態（F6）



■ 入学が決定したときの気持ち（Q1）



		N	入学先としてまあ満足していた	入学先としてまあ許せる範囲であった	入学することは仕方がないと思っていた	無回答
	【全体】	549	73.8	18.6	6.9	0.7
性別	男性	260	70.4	21.2	7.7	0.8
	女性	288	77.1	16.3	5.9	0.7
入学年度別	平成21年度	303	74.9	18.2	6.9	0.0
	平成20年度以前計	241	73.0	19.5	6.6	0.8
所属学域別	人間社会学域	159	71.1	23.3	5.7	0.0
	理工学域	112	66.1	22.3	11.6	0.0
	医薬保健学域	277	78.7	14.4	5.4	1.4
	医学類	101	81.2	10.9	5.9	2.0
	薬学類・創薬科学類	53	81.1	17.0	1.9	0.0
	保健学類	123	75.6	16.3	6.5	1.6
入学形態別	一般入試	463	71.5	21.2	6.9	0.4
	推薦入試	81	88.9	4.9	6.2	0.0

■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

第2章. 調査結果の詳細

Ⅰ. 支出関連

～金沢大生は、学生生活における支出にどの程度負担を感じているのか～

1. 通常の生活費用以外の大きな出費

■通常の生活費用以外の大きな出費としては、「PC」を挙げた人が最も多い（回答者出現率：77.4%）。
■次いで、「旅費」（回答者出現率：57.0%）、「引越しに関する費用」（回答者出現率：37.3%）が挙げられている。

			N	車	バイク	PC	旅費（帰省代含む）	引越しに関する費用
	全体	回答者出現率	549	10.6%	6.0%	77.4%	57.0%	37.3%
		総額平均		80.8万円	10.7万円	18.4万円	8.5万円	23.3万円
		自己負担額平均		34.2万円	9.9万円	17.1万円	6.7万円	16.6万円
性別	男性	回答者出現率	260	13.1%	8.1%	73.1%	51.5%	31.9%
		総額平均		85.4万円	10.6万円	17.8万円	8.5万円	20.9万円
		自己負担額平均		28.2万円	10.4万円	16.7万円	6.7万円	13.6万円
	女性	回答者出現率	288	8.3%	4.2%	81.6%	62.2%	42.4%
		総額平均		74.3万円	10.9万円	18.8万円	8.5万円	25.0万円
		自己負担額平均		49.3万円	8.5万円	17.5万円	6.7万円	18.6万円
居住形態別	自宅生	回答者出現率	139	22.3%	5.8%	78.4%	28.1%	3.6%
		総額平均		74.8万円	9.2万円	19.5万円	15.8万円	9.0万円
		自己負担額平均		23.3万円	9.4万円	17.1万円	9.2万円	8.0万円
	自宅外生	回答者出現率	405	6.7%	6.2%	77.3%	66.9%	48.9%
		総額平均		87.8万円	11.2万円	18.0万円	7.5万円	23.6万円
		自己負担額平均		46.3万円	10.0万円	17.2万円	6.3万円	16.3万円
学域・学類別	人間社会学域	回答者出現率	159	8.2%	3.1%	80.5%	57.9%	37.1%
		総額平均		57.2万円	12.4万円	17.7万円	6.9万円	21.4万円
		自己負担額平均		26.5万円	20.0万円	17.6万円	5.8万円	18.0万円
	理工学域	回答者出現率	112	9.8%	17.0%	67.9%	48.2%	32.1%
		総額平均		52.9万円	10.5万円	19.8万円	8.1万円	23.3万円
		自己負担額平均		34.8万円	9.6万円	14.3万円	6.4万円	13.1万円
	医薬保健学域	回答者出現率	277	12.3%	3.2%	79.8%	60.3%	39.7%
		総額平均		98.9万円	10.3万円	18.3万円	9.5万円	24.4万円
		自己負担額平均		39.0万円	8.5万円	17.9万円	7.4万円	17.0万円
	医学類	回答者出現率	101	17.8%	3.0%	76.2%	57.4%	31.7%
		総額平均		135.4万円	11.0万円	18.3万円	13.7万円	22.3万円
		自己負担額平均		20.3万円	11.5万円	18.8万円	10.1万円	14.8万円
	薬学類・創薬科学類	回答者出現率	53	9.4%	3.8%	71.7%	54.7%	39.6%
		総額平均		58.0万円	8.0万円	17.9万円	5.5万円	19.6万円
		自己負担額平均		45.0万円	1.0万円	15.6万円	5.5万円	12.4万円
	保健学類	回答者出現率	123	8.9%	3.3%	86.2%	65.0%	46.3%
		総額平均		57.8万円	10.9万円	18.4万円	7.9万円	27.4万円
		自己負担額平均		90.0万円	9.3万円	17.6万円	6.4万円	20.5万円

※回答者出現率・・・各出費について0円及び無回答を除いたスコア

2. 通常の1ヶ月の支出額について

■通常の1ヶ月の支出として、「食費」を挙げている人が最も多く回答者出現率は85.6%。月額平均で1万8,700円。

■次いで、「その他費用（生活費、趣味・娯楽費）」「交通費」が70%程度、「サークル活動費」「通信費」が65%。

・月額平均は、「その他費用」は1万3,300円となっているが、他の支出は月額平均でおよそ1万円程度。

その他費用　・・・1万3,300円
交通費　・・・9,400円
サークル活動費　・・・9,800円
通信費　・・・8,500円

■居住形態別でみると、自宅外生は、「住居に関する費用」として月額平均で4万2,600円を支出（回答者出現率：77.5%）。
また、「教育関連費用」「サークル活動費」「食費」「その他費用」ともに、自宅生の回答者出現率、月額平均を上回っている。

■「教育関連費用」は、回答者出現率が48.6%。月額平均で9,100円。

・人間社会学域、薬学類・創薬科学類で、回答者出現率が全体と比べ高い。

人間社会学域　・・・回答者出現率：61.6%　月額平均：6,300円
薬学類・創薬科学類　・・・回答者出現率：54.7%　月額平均：1万300円

回答者出現率及び月額平均は次ページを参照

※回答者出現率・・・各出費について0円及び無回答を除いたスコア

2. 通常の1ヶ月の支出額について

			N	教育関連費用（書籍・大学の授業料以外の受講料等）	サークル活動等にかかる費用（関連する飲食代含む）	食費（特別な飲食代は除く）	住居に関する費用（管理費、光熱費、月々の駐車料等を含む）	交通費（通学にかかる費用を含む）	通信費（携帯電話・PC等）	その他の費用（生活費及び趣味・娯楽費全て）	各種の返済費（ローン返済、借金返済等）
	全体	回答者出現率	549	48.6%	65.2%	85.6%	59.4%	68.3%	65.0%	70.1%	2.9%
		月額平均		9.1千円	9.8千円	18.7千円	41.8千円	9.4千円	8.5千円	13.3千円	17.6千円
性別	男性	回答者出現率	260	48.8%	62.3%	85.8%	57.7%	63.5%	59.6%	66.9%	3.8%
		月額平均		9.2千円	11.0千円	20.4千円	37.9千円	10.2千円	8.6千円	13.0千円	14.5千円
	女性	回答者出現率	288	48.6%	68.1%	85.8%	61.1%	72.9%	70.1%	73.3%	2.1%
		月額平均		9.0千円	8.8千円	17.2千円	45.2千円	8.8千円	8.5千円	13.6千円	22.7千円
居住形態別	自宅生	回答者出現率	139	41.0%	58.3%	68.3%	7.9%	79.1%	64.7%	68.3%	4.3%
		月額平均		7.6千円	7.8千円	9.7千円	19.9千円	18.2千円	8.8千円	12.0千円	13.3千円
	自宅外生	回答者出現率	405	51.6%	67.7%	91.9%	77.5%	64.7%	65.2%	71.4%	2.5%
		月額平均		9.6千円	10.4千円	21.0千円	42.6千円	5.8千円	8.4千円	13.7千円	20.1千円
入学年度別	平成21年度	回答者出現率	303	47.9%	68.3%	82.8%	57.1%	69.3%	61.7%	65.0%	1.7%
		月額平均		9.9千円	9.9千円	18.5千円	40.9千円	10.8千円	9.0千円	12.0千円	15.0千円
	平成20年度以前計	回答者出現率	241	50.2%	61.8%	90.0%	63.5%	68.0%	70.1%	77.2%	4.6%
		月額平均		8.2千円	9.8千円	19.0千円	42.9千円	7.7千円	8.0千円	14.8千円	18.7千円
学域・学類別	人間社会学域	回答者出現率	159	61.6%	64.2%	89.3%	58.5%	69.8%	67.9%	79.9%	2.5%
		月額平均		6.3千円	8.1千円	18.5千円	46.6千円	9.8千円	9.2千円	13.9千円	17.5千円
	理工学域	回答者出現率	112	42.9%	61.6%	93.8%	58.9%	73.2%	59.8%	70.5%	4.5%
		月額平均		11.7千円	13.0千円	18.4千円	36.6千円	10.6千円	8.5千円	12.9千円	11.0千円
	医薬保健学域	回答者出現率	277	43.7%	67.5%	80.5%	60.3%	65.7%	65.7%	64.6%	2.5%
		月額平均		10.4千円	9.6千円	19.0千円	41.2千円	8.7千円	8.1千円	13.1千円	22.3千円
	医学類	回答者出現率	101	37.6%	66.3%	70.3%	51.5%	64.4%	54.5%	50.5%	4.0%
		月額平均		11.7千円	11.6千円	22.8千円	37.4千円	10.5千円	9.3千円	15.8千円	17.5千円
	薬学類・創薬科学類	回答者出現率	53	54.7%	71.7%	83.0%	49.1%	67.9%	60.4%	66.0%	0.0%
		月額平均		10.3千円	6.3千円	17.3千円	44.3千円	7.8千円	6.4千円	10.3千円	―
	保健学類	回答者出現率	123	43.9%	66.7%	87.8%	72.4%	65.9%	77.2%	75.6%	2.4%
		月額平均		9.5千円	9.5千円	17.3千円	42.5千円	7.7千円	8.1千円	12.7千円	28.7千円
所属学域別×住居形態別	人間社会学域×自宅生	回答者出現率	45	62.2%	51.1%	77.8%	4.4%	71.1%	64.4%	77.8%	6.7%
		月額平均		6.1千円	5.6千円	10.3千円	55.0千円	21.8千円	7.9千円	13.6千円	16.7千円
	人間社会学域×自宅外生	回答者出現率	113	61.1%	69.0%	93.8%	80.5%	69.0%	69.0%	80.5%	0.9%
		月額平均		6.4千円	9.0千円	21.1千円	46.4千円	5.0千円	9.7千円	14.0千円	20.0千円
	理工学域×自宅生	回答者出現率	29	24.1%	58.6%	86.2%	0.0%	86.2%	62.1%	69.0%	10.3%
		月額平均		12.7千円	12.1千円	8.2千円	―	24.0千円	11.7千円	14.2千円	10.0千円
	理工学域×自宅外生	回答者出現率	82	50.0%	62.2%	96.3%	79.3%	68.3%	58.5%	72.0%	2.4%
		月額平均		11.5千円	13.4千円	21.6千円	36.4千円	4.8千円	7.3千円	12.4千円	12.5千円
	医薬保健学域×自宅生	回答者出現率	65	33.8%	63.1%	53.8%	13.8%	81.5%	66.2%	61.5%	0.0%
		月額平均		7.8千円	7.3千円	10.3千円	12.1千円	13.2千円	8.2千円	9.7千円	―
	医薬保健学域×自宅外生	回答者出現率	210	47.1%	69.0%	89.0%	75.2%	61.0%	65.7%	66.2%	3.3%
		月額平均		11.0千円	10.1千円	20.8千円	42.9千円	6.8千円	8.1千円	14.1千円	22.3千円
	医学類×自宅生	回答者出現率	26	26.9%	57.7%	50.0%	7.7%	73.1%	57.7%	50.0%	0.0%
		月額平均		8.9千円	9.1千円	13.1千円	10.0千円	12.4千円	7.9千円	12.1千円	―
	医学類×自宅外生	回答者出現率	73	42.5%	69.9%	78.1%	68.5%	61.6%	53.4%	52.1%	5.5%
		月額平均		12.4千円	12.2千円	25.3千円	38.5千円	9.7千円	9.8千円	17.1千円	17.5千円
	薬学類・創薬科学類×自宅生	回答者出現率	12	50.0%	75.0%	66.7%	8.3%	91.7%	83.3%	58.3%	0.0%
		月額平均		8.3千円	5.7千円	8.6千円	40.0千円	14.8千円	7.2千円	6.9千円	―
	薬学類・創薬科学類×自宅外生	回答者出現率	41	56.1%	70.7%	87.8%	61.0%	61.0%	53.7%	68.3%	0.0%
		月額平均		10.9千円	6.5千円	19.3千円	44.4千円	4.8千円	6.1千円	11.2千円	―
	保健学類×自宅生	回答者出現率	27	33.3%	63.0%	51.9%	22.2%	85.2%	66.7%	74.1%	0.0%
		月額平均		6.7千円	6.6千円	8.6千円	8.2千円	13.1千円	9.1千円	9.1千円	―
	保健学類×自宅外生	回答者出現率	96	46.9%	67.7%	97.9%	86.5%	60.4%	80.2%	76.0%	3.1%
		月額平均		10.1千円	10.2千円	18.6千円	45.0千円	5.5千円	7.8千円	13.7千円	28.7千円

※回答者出現率・・・各出費について0円及び無回答を除いたスコア

3. 通常1ヶ月の各種支出についての気持ち＜負担度＞

■通常1ヶ月の各種支出について負担に感じるものとして「交通費」「食費」「サークル活動」の3つが、3割台で拮抗。

■「教育関連費用」について、負担を感じているのは20.6%。

•薬学類・創薬科学類、人間社会学域で負担を感じている人がそれぞれ32.1%、25.2%と全体と比べ高くなっている。

■住居形態別では、自宅外生のほうが、自宅生に比べ各種支出に関して負担を感じていると思う人が多い。

•教育関連費用：21.7%、サークル活動費：32.8%、食費：35.8%、住居に関する費用：31.4%、その他費用：24.2%は、いずれも自宅生を上回っている。

Q11.通常1ヶ月の各種支出についての現在の気持ち

＜負担に感じている＞

(%)

全数ベース		N	教育関連費用（書籍・大学の授業料以外の受講料等）	サークル活動等にかかる費用（関連する飲食代含む）	食費（特別な飲食代は除く）	住居に関する費用（管理費、光熱費、月々の駐車料等を含む）	交通費（通学にかかる費用を含む）	通信費（携帯電話・PC等）	その他の費用（生活費及び趣味・娯楽費全て）	各種の返済費（ローン返済、借金返済等）
	【全体】	549	20.6	30.6	33.9	24.2	34.8	18.2	23.1	4.4
性別	男性	260	16.5	28.8	35.8	21.5	28.8	18.5	19.6	5.8
	女性	288	24.3	32.3	32.3	26.4	40.3	18.1	26.0	3.1
入学年度別	平成21年度	303	24.1	30.0	36.3	23.8	39.9	17.5	21.1	4.0
	平成20年度以前計	241	16.6	32.0	30.7	24.5	28.6	19.5	25.7	5.0
住居形態別	自宅生	139	18.0	25.9	29.5	2.9	52.5	20.1	20.1	6.5
	自宅外生	405	21.7	32.3	35.8	31.4	28.9	17.8	24.2	3.7
所属学域別	人間社会学域	159	25.2	25.8	39.6	27.0	42.8	21.4	24.5	3.8
	理工学域	112	14.3	33.9	35.7	25.0	33.9	20.5	26.8	6.3
	医薬保健学域	277	20.6	32.1	30.0	22.0	30.7	15.5	20.6	4.0
	医学類	101	17.8	25.7	33.7	16.8	33.7	10.9	16.8	5.0
	薬学類・創薬科学類	53	32.1	41.5	26.4	20.8	34.0	11.3	15.1	7.5
	保健学類	123	17.9	33.3	28.5	26.8	26.8	21.1	26.0	1.6
所属学域別×住居形態別	人間社会学域×自宅生	45	20.0	28.9	40.0	4.4	66.7	26.7	22.2	8.9
	人間社会学域×自宅外生	113	27.4	24.8	39.8	36.3	33.6	19.5	25.7	1.8
	理工学域×自宅生	29	6.9	34.5	17.2	0.0	48.3	17.2	27.6	10.3
	理工学域×自宅外生	82	17.1	32.9	42.7	32.9	29.3	22.0	26.8	4.9
	医薬保健学域×自宅生	65	21.5	20.0	27.7	3.1	44.6	16.9	15.4	3.1
	医薬保健学域×自宅外生	210	20.5	36.2	31.0	28.1	26.2	15.2	22.4	4.3
	医学類×自宅生	26	23.1	11.5	23.1	0.0	42.3	15.4	15.4	3.8
	医学類×自宅外生	73	16.4	31.5	38.4	23.3	30.1	9.6	17.8	5.5
	薬学類・創薬科学類×自宅生	12	33.3	41.7	16.7	0.0	58.3	8.3	0.0	8.3
	薬学類・創薬科学類×自宅外生	41	31.7	41.5	29.3	26.8	26.8	12.2	19.5	7.3
	保健学類×自宅生	27	14.8	18.5	37.0	7.4	40.7	22.2	22.2	0.0
	保健学類×自宅外生	96	18.8	37.5	26.0	32.3	22.9	20.8	27.1	2.1

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い

■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

4. 通常1ヶ月の各種支出についての行動＜負担軽減のための行動＞

■負担を減らそうと行動しているのは、「食費」が最も多く41.7%。次いで、「交通費」で31.5%。

•「食費」に関しては、負担に感じていると回答した人（33.9%：参照P11）を8ポイント上回っている。

■「教育関連費用」の負担を減らそうと行動している人は9.5%と1割程度に留まる。

Q11.通常1ヶ月の各種支出についての実際の行動

＜負担を減らそうと行動している＞

全数ベース

(%)

		N	教育関連費用（書籍・大学の授業料以外の受講料等）	サークル活動等にかかる費用（関連する飲食代含む）	食費（特別な飲食代は除く）	住居に関する費用（管理費、光熱費、月々の駐車料等を含む）	交通費（通学にかかる費用を含む）	通信費（携帯電話・PC等）	その他の費用（生活費及び趣味・娯楽費全て）	各種の返済費（ローン返済、借金返済等）
	【全体】	549	9.5	18.4	41.7	18.9	31.5	18.2	25.0	2.6
性別	男性	260	8.5	17.3	40.0	13.5	25.4	15.0	18.8	2.3
	女性	288	10.4	19.4	43.1	24.0	36.8	21.2	30.6	2.8
入学年度別	平成21年度	303	9.2	16.5	39.6	14.5	31.7	15.5	22.1	2.0
	平成20年度以前計	241	10.0	21.2	44.0	24.9	31.5	22.0	29.0	3.3
住居形態別	自宅生	139	10.1	20.1	32.4	2.9	35.3	22.3	22.3	5.0
	自宅外生	405	9.4	17.8	45.2	24.7	30.1	17.0	26.2	1.7
所属学域別	人間社会学域	159	11.3	17.0	50.3	17.0	39.0	23.9	27.7	3.1
	理工学域	112	11.6	19.6	43.8	20.5	38.4	17.9	27.7	2.7
	医薬保健学域	277	7.6	18.8	35.7	19.5	24.2	15.2	22.4	2.2
	医学類	101	7.9	12.9	26.7	9.9	20.8	9.9	14.9	3.0
	薬学類・創薬科学類	53	9.4	30.2	35.8	17.0	28.3	9.4	11.3	1.9
	保健学類	123	6.5	18.7	43.1	28.5	25.2	22.0	33.3	1.6
所属学域別×住居形態別	人間社会学域×自宅生	45	15.6	17.8	46.7	2.2	42.2	31.1	24.4	8.9
	人間社会学域×自宅外生	113	9.7	16.8	52.2	23.0	38.1	21.2	29.2	0.9
	理工学域×自宅生	29	6.9	31.0	27.6	3.4	44.8	24.1	31.0	6.9
	理工学域×自宅外生	82	13.4	15.9	50.0	26.8	36.6	15.9	26.8	1.2
	医薬保健学域×自宅生	65	7.7	16.9	24.6	3.1	26.2	15.4	16.9	1.5
	医薬保健学域×自宅外生	210	7.6	19.0	39.5	24.8	23.3	15.2	24.3	2.4
	医学類×自宅生	26	7.7	7.7	19.2	3.8	26.9	7.7	11.5	3.8
	医学類×自宅外生	73	8.2	13.7	30.1	12.3	17.8	11.0	16.4	2.7
	薬学類・創薬科学類×自宅生	12	8.3	25.0	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	薬学類・創薬科学類×自宅外生	41	9.8	31.7	41.5	22.0	26.8	7.3	14.6	2.4
	保健学類×自宅生	27	7.4	22.2	33.3	3.7	22.2	22.2	29.6	0.0
	保健学類×自宅外生	96	6.3	17.7	45.8	35.4	26.0	21.9	34.4	2.1

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い

■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

5. 通常1ヶ月の各種支出についての気持ち＜増やしたいと思う＞

■支出について、「増やしたいと思っている」ものはほとんど見られず、最もスコアが高い
「その他の費用（生活費及び趣味・娯楽費全て）」でも13.3%。
■「教育関連費用」を増やしたいと思っているのは7.5%と1割以下に留まっている。
・人間社会学域・理工学域は増やしたいとの回答がそれぞれ10%を超えている。一方、医薬保健学域では4.0%。

Q11.通常1ヶ月の各種支出についての現在の気持ち

＜増やしたいと思っている＞

(%)

全数ベース		N	教育関連費用（書籍・大学の授業料以外の受講料等）	サークル活動等にかかる費用（関連する飲食代含む）	食費（特別な飲食代は除く）	住居に関する費用（管理費、光熱費、月々の駐車料等を含む）	交通費（通学にかかる費用を含む）	通信費（携帯電話・PC等）	その他の費用（生活費及び趣味・娯楽費全て）	各種の返済費（ローン返済、借金返済等）
	【全体】	549	7.5	2.4	2.2	0.7	0.5	0.9	13.3	0.5
性別	男性	260	10.8	3.5	3.5	0.8	0.4	0.8	12.3	0.4
	女性	288	4.5	1.0	1.0	0.7	0.3	1.0	14.2	0.3
入学年度別	平成21年度	303	5.9	2.3	2.0	1.0	0.3	1.0	11.9	0.3
	平成20年度以前計	241	9.5	2.1	2.5	0.4	0.4	0.8	14.9	0.4
住居形態別	自宅生	139	6.5	1.4	2.2	0.0	0.0	0.7	8.6	0.0
	自宅外生	405	7.9	2.5	2.2	1.0	0.5	1.0	14.8	0.5
所属学域別	人間社会学域	159	11.3	3.1	2.5	0.6	0.6	1.3	17.0	0.6
	理工学域	112	10.7	2.7	1.8	0.9	0.0	0.0	13.4	0.0
	医薬保健学域	277	4.0	1.4	2.2	0.7	0.4	1.1	11.2	0.4
	医学類	101	6.9	2.0	5.0	2.0	1.0	2.0	9.9	1.0
	薬学類・創薬科学類	53	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3	0.0
	保健学類	123	2.4	1.6	0.8	0.0	0.0	0.8	12.2	0.0
所属学域別×住居形態別	人間社会学域×自宅生	45	17.8	4.4	4.4	0.0	0.0	2.2	13.3	0.0
	人間社会学域×自宅外生	113	8.8	2.7	1.8	0.9	0.9	0.9	17.7	0.9
	理工学域×自宅生	29	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0
	理工学域×自宅外生	82	13.4	3.7	2.4	1.2	0.0	0.0	15.9	0.0
	医薬保健学域×自宅生	65	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0
	医薬保健学域×自宅外生	210	5.2	1.9	2.4	1.0	0.5	1.4	12.9	0.5
	医学類×自宅生	26	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医学類×自宅外生	73	9.6	2.7	5.5	2.7	1.4	2.7	13.7	1.4
	薬学類・創薬科学類×自宅生	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	薬学類・創薬科学類×自宅外生	41	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.2	0.0
	保健学類×自宅生	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	保健学類×自宅外生	96	3.1	2.1	1.0	0.0	0.0	1.0	12.5	0.0

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

6. 通常1ヶ月の各種支出についての行動＜増やそうと行動している＞

■通常1ヶ月の各種支出について、増やそうと行動している人はほとんどみられない。

Q11.通常1ヶ月の各種支出についての実際の行動

＜増やそうと行動している＞

(%)

全数ベース		N	教育関連費用（書籍・大学の授業料以外の受講料等）	サークル活動等にかかる費用（関連する飲食代含む）	食費（特別な飲食代は除く）	住居に関する費用（管理費、光熱費、月々の駐車料等を含む）	交通費（通学にかかる費用を含む）	通信費（携帯電話・PC等）	その他の費用（生活費及び趣味・娯楽費全て）	各種の返済費（ローン返済、借金返済等）
	【全体】	549	2.7	1.3	1.3	0.9	0.5	0.7	6.9	0.5
性別	男性	260	3.5	1.5	1.5	1.2	0.8	0.4	8.1	0.8
	女性	288	1.7	0.7	1.0	0.3	0.3	1.0	5.6	0.0
入学年度別	平成21年度	303	2.0	1.3	0.7	0.7	0.7	0.7	5.3	0.7
	平成20年度以前計	241	3.3	0.8	2.1	0.8	0.4	0.8	8.7	0.0
住居形態別	自宅生	139	2.2	0.7	2.2	1.4	0.7	1.4	2.9	0.0
	自宅外生	405	2.7	1.2	1.0	0.5	0.5	0.5	7.9	0.5
所属学域別	人間社会学域	159	3.8	1.3	1.3	0.6	1.3	0.6	8.2	0.0
	理工学域	112	2.7	2.7	0.9	0.9	0.0	0.0	8.9	0.9
	医薬保健学域	277	1.8	0.4	1.4	0.7	0.4	1.1	5.1	0.4
	医学類	101	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	5.9	1.0
	薬学類・創薬科学類	53	1.9	0.0	1.9	1.9	0.0	3.8	3.8	0.0
	保健学類	123	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0
所属学域別×住居形態別	人間社会学域×自宅生	45	4.4	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	4.4	0.0
	人間社会学域×自宅外生	113	3.5	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	8.8	0.0
	理工学域×自宅生	29	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
	理工学域×自宅外生	82	3.7	3.7	1.2	1.2	0.0	0.0	11.0	1.2
	医薬保健学域×自宅生	65	1.5	0.0	3.1	1.5	0.0	1.5	1.5	0.0
	医薬保健学域×自宅外生	210	1.9	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	6.2	0.5
	医学類×自宅生	26	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医学類×自宅外生	73	2.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	8.2	1.4
	薬学類・創薬科学類×自宅生	12	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0
	薬学類・創薬科学類×自宅外生	41	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	4.9	0.0
	保健学類×自宅生	27	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0
	保健学類×自宅外生	96	2.1	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

Ⅱ. 収入関連

～金沢大生の収入構造はどうなっているのか～

1. 通常の1ヶ月の収入額

■通常の1ヶ月の収入としては、「家庭からの仕送りや小遣い」が最も多く76.1%（回答者出現率）。月額平均で5万600円。

■「日本学生支援機構奨学金」は35.5%が利用し、月額平均で6万1,400円。
「アルバイト」により50.5%が収入を得ており、月額平均で3万8,300円。

■居住形態別でみると、自宅外生は「家庭からの仕送りや小遣い」「日本学生支援機構奨学金」が多くなっている。
- •家庭からの仕送りや小遣い　・・・回答者出現率：82.0%　月額平均：5万8,700円
- •日本学生支援機構奨学金　・・・回答者出現率：39.3%　月額平均：6万3,600円

■一方、自宅生は「家庭からの仕送りや小遣い」を得ている人が59.7%みられるものの、月額平均は1万8,600円と自宅外生と比べ少ない。
その分、「アルバイト」から収入を得ている人が66.9%と、自宅外生（45.4%）と比べ多くなっている。

■学域・学類別でみると、薬学類・創薬科学類は「日本学生支援機構奨学金」、保健学域は「日本学生支援機構奨学金」「アルバイト収入」が多い。

回答者出現率及び月額平均は次ページを参照

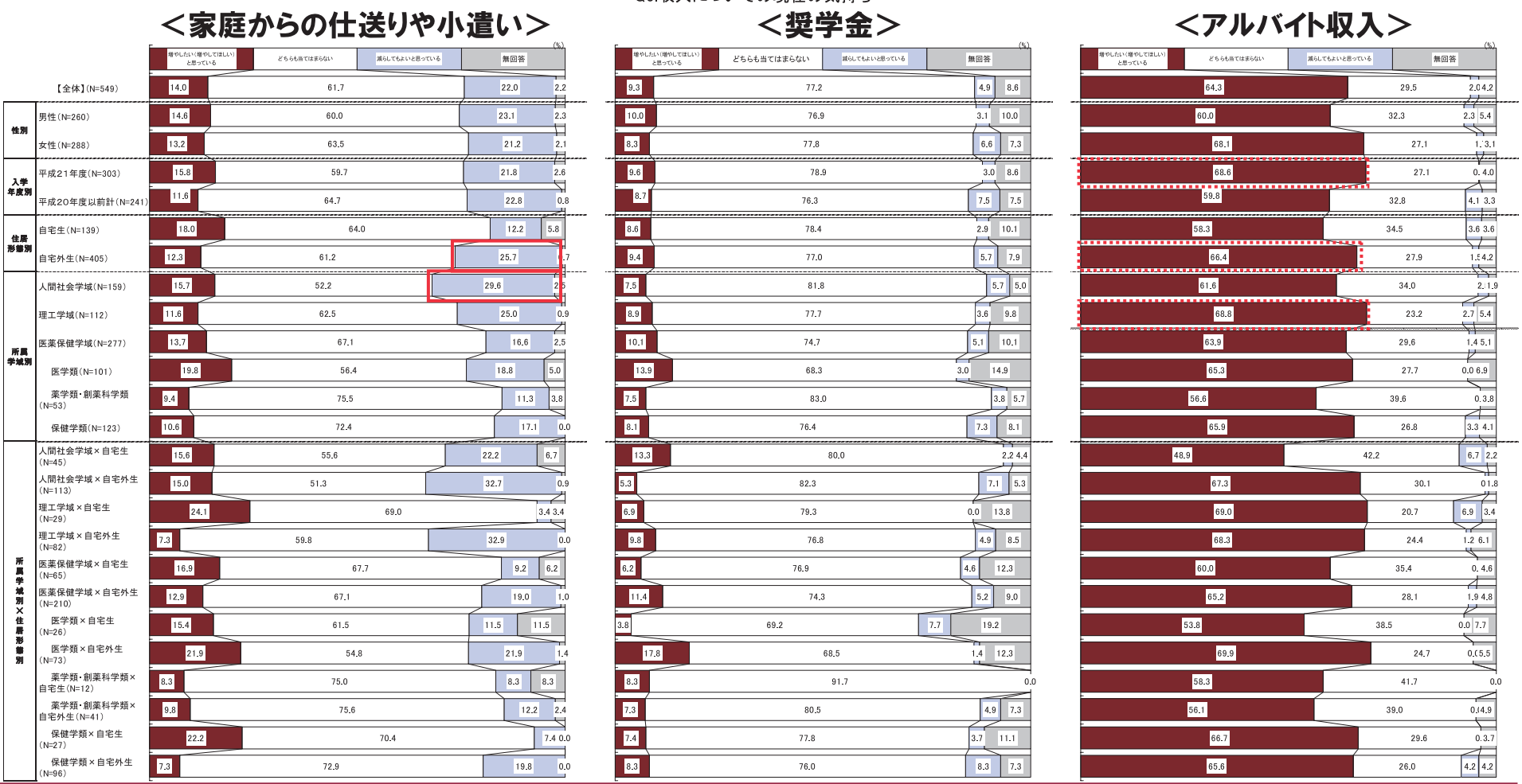
1. 通常の1ヶ月の収入額

			N	家庭からの仕送りや小遣い	日本学生支援機構奨学金	その他の奨学金	アルバイト収入	その他の収入
	全体	回答者出現率	549	76.1%	35.5%	6.2%	50.5%	1.6%
		月額平均		50.6千円	61.4千円	71.6千円	38.3千円	24.3千円
性別	男性	回答者出現率	260	77.7%	33.1%	6.2%	45.4%	1.5%
		月額平均		52.0千円	56.4千円	68.9千円	41.6千円	40.3千円
	女性	回答者出現率	288	75.0%	37.8%	6.3%	55.2%	1.7%
		月額平均		49.4千円	65.4千円	74.1千円	35.8千円	11.6千円
居住形態別	自宅生	回答者出現率	139	59.7%	25.2%	5.0%	66.9%	2.9%
		月額平均		18.6千円	51.7千円	103.4千円	39.1千円	20.0千円
	自宅外生	回答者出現率	405	82.0%	39.3%	6.4%	45.4%	1.2%
		月額平均		58.7千円	63.6千円	58.1千円	37.8千円	27.8千円
学域・学類別	人間社会学域	回答者出現率	159	78.0%	35.8%	5.7%	42.1%	1.9%
		月額平均		43.6千円	57.6千円	29.7千円	37.7千円	26.7千円
	理工学域	回答者出現率	112	72.3%	33.9%	6.3%	54.5%	0.9%
		月額平均		50.8千円	51.4千円	55.6千円	36.6千円	10.0千円
	医薬保健学域	回答者出現率	277	76.9%	36.1%	6.5%	53.8%	1.8%
		月額平均		54.7千円	67.4千円	98.8千円	39.2千円	25.8千円
	医学類	回答者出現率	101	79.2%	21.8%	10.9%	40.6%	3.0%
		月額平均		61.2千円	69.7千円	104.6千円	44.8千円	37.0千円
	薬学類・創薬科学類	回答者出現率	53	73.6%	47.2%	5.7%	50.9%	0.0%
		月額平均		53.6千円	58.6千円	160.0千円	35.3千円	―
	保健学類	回答者出現率	123	76.4%	43.1%	3.3%	65.9%	1.6%
		月額平均		49.6千円	70.6千円	37.0千円	37.6千円	9.0千円
所属学域別×住居形態別	人間社会学域×自宅生	回答者出現率	45	66.7%	28.9%	4.4%	57.8%	4.4%
		月額平均		20.1千円	44.7千円	40.0千円	46.9千円	30.0千円
	人間社会学域×自宅外生	回答者出現率	113	82.3%	38.9%	6.2%	36.3%	0.9%
		月額平均		51.1千円	61.4千円	26.7千円	31.8千円	20.0千円
	理工学域×自宅生	回答者出現率	29	48.3%	24.1%	0.0%	65.5%	3.4%
		月額平均		17.8千円	44.4千円	―	38.8千円	10.0千円
	理工学域×自宅外生	回答者出現率	82	80.5%	36.6%	8.5%	51.2%	0.0%
		月額平均		57.8千円	53.1千円	55.6千円	35.6千円	―
	医薬保健学域×自宅生	回答者出現率	65	60.0%	23.1%	7.7%	73.8%	1.5%
		月額平均		17.6千円	61.2千円	128.8千円	35.0千円	10.0千円
	医薬保健学域×自宅外生	回答者出現率	210	82.4%	40.5%	5.7%	48.1%	1.9%
		月額平均		63.1千円	68.5千円	77.9千円	41.1千円	29.8千円
	医学類×自宅生	回答者出現率	26	61.5%	23.1%	7.7%	61.5%	3.8%
		月額平均		25.6千円	64.5千円	200.0千円	38.1千円	10.0千円
	医学類×自宅外生	回答者出現率	73	86.3%	21.9%	11.0%	34.2%	2.7%
		月額平均		70.6千円	71.6千円	68.9千円	49.1千円	50.5千円
	薬学類・創薬科学類×自宅生	回答者出現率	12	58.3%	33.3%	16.7%	83.3%	0.0%
		月額平均		8.3千円	57.3千円	100.0千円	29.0千円	―
	薬学類・創薬科学類×自宅外生	回答者出現率	41	78.0%	51.2%	2.4%	41.5%	0.0%
		月額平均		63.5千円	58.8千円	280.0千円	39.0千円	―
	保健学類×自宅生	回答者出現率	27	59.3%	18.5%	3.7%	81.5%	0.0%
		月額平均		13.8千円	60.4千円	44.0千円	35.6千円	―
	保健学類×自宅外生	回答者出現率	96	81.3%	50.0%	3.1%	61.5%	2.1%
		月額平均		57.0千円	71.7千円	34.7千円	38.4千円	9.0千円

2. 収入についての現在の気持ち

■収入についての現在の気持ちをみると、家庭からの仕送りや小遣い・奨学金は、自分で増減は出来ないという前提があることから、
「どちらもあてはまらない」という中庸な立場が多くなっている。
ただし、家庭からの仕送りや小遣いは、「減らしてもよいと思っている」が、「増やしたいと思っている」を上回っている。
•特に、“自宅外生”や、“人間社会学域”で「減らしてもよいと思っている」が3割程度みられる。
■収入減に対しては、アルバイト収入を「増やしたい」との意向を持つ人が多く、「増やしたいと思っている」が64.3%。
•入学年度別では“平成21年度入学”、住居形態別では“自宅外生”、学域別では“理工学域”で意向は高い。

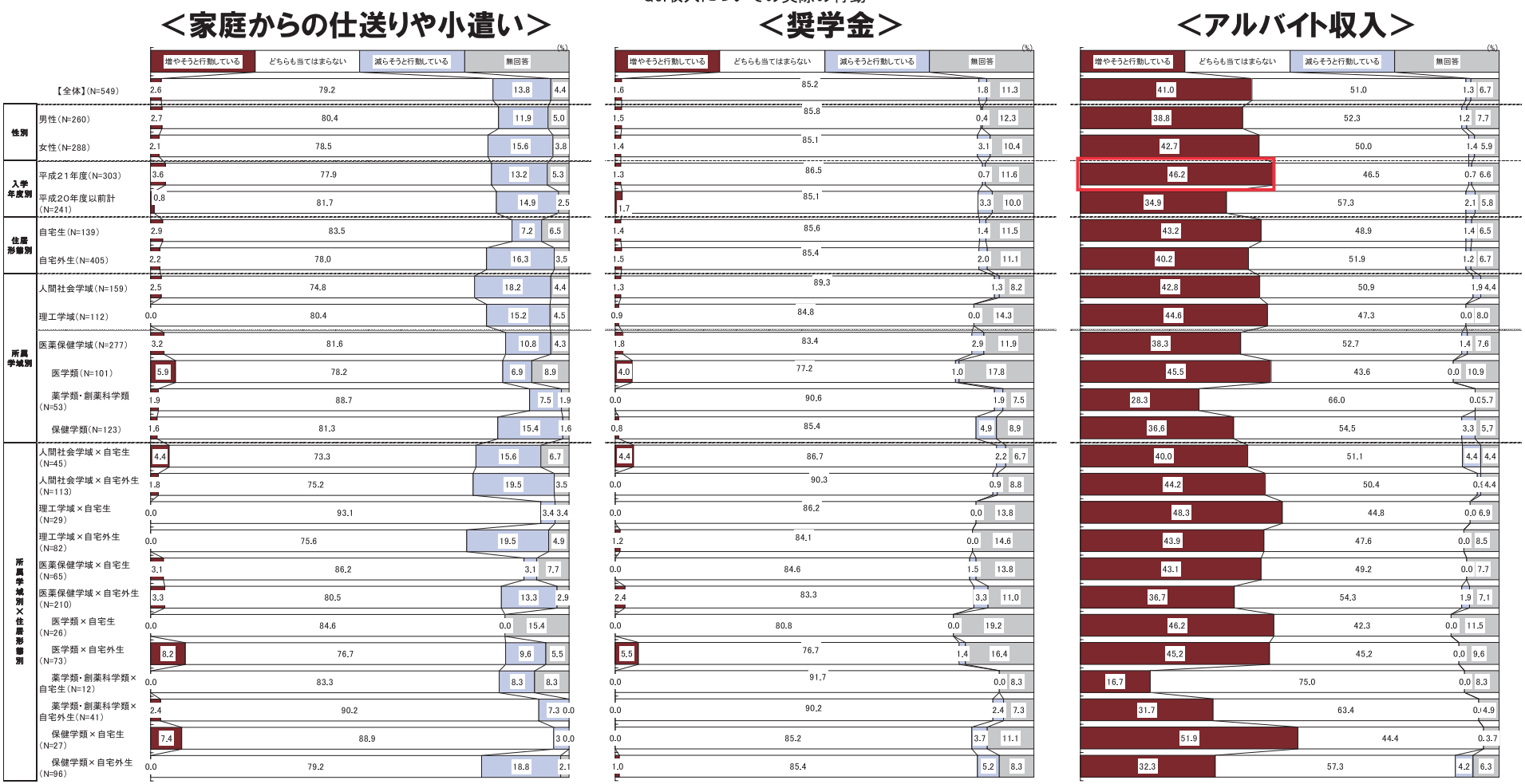
Q5.収入についての現在の気持ち



3. 収入についての行動

■家庭からの仕送りや小遣い・奨学金については、「どちらも当てはまらない」が、80%程度と大半。
また、保護者に言及し、減らそうと行動している人が1割程度みられる。
■奨学金は、自己裁量がないため、「どちらもあてはまらない」が多数。
■アルバイト収入は「増やそうと行動している」が41.0%。
•入学年度別でみると、“平成21年度”で高くなっている。

Q5.収入についての実際の行動

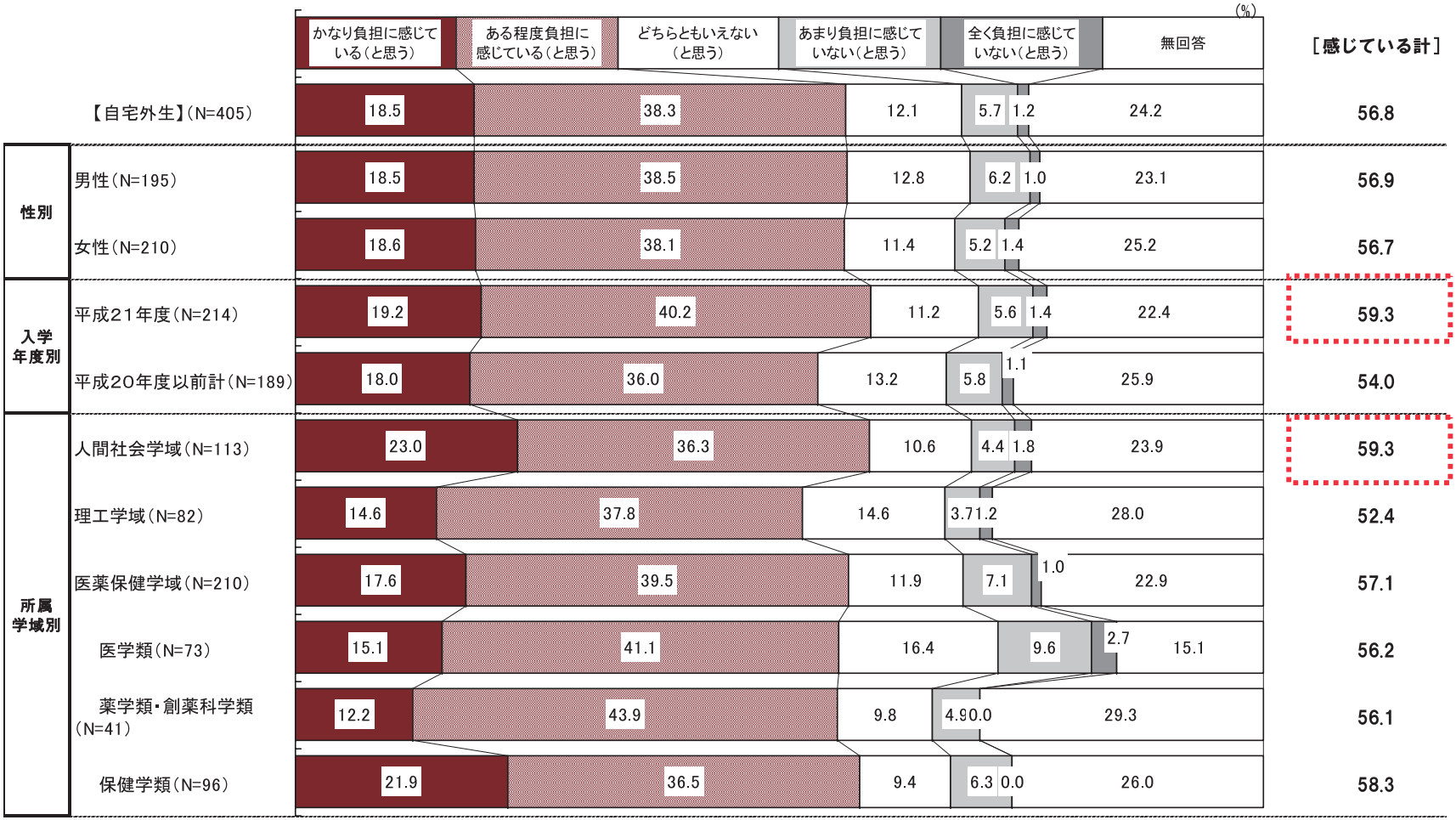


4.「家庭からの仕送り」についての保護者等の負担感

■「家庭からの仕送り」について保護者が負担を感じていると思う人は半数以上（回答者ベースでは75%）。

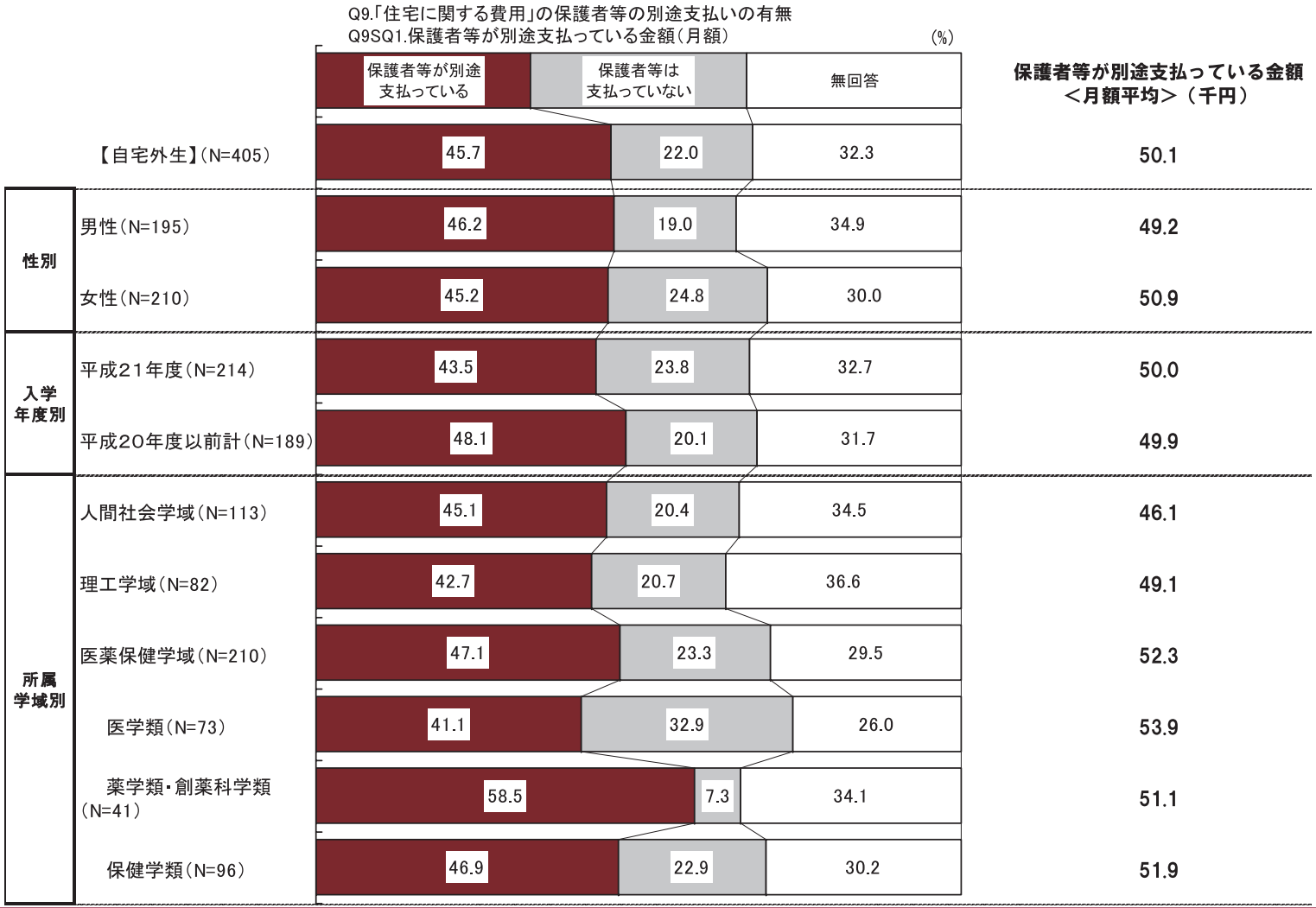
- 入学年度別でみると“平成21年度”、学域別では“人間社会学域”で、負担に感じていると思うと回答した人は、やや高くなっている。

Q6.「家庭からの仕送り」について保護者等の負担感



5.「住宅に関する費用」の保護者等の支払いの有無

■住宅に関する費用を保護者が支払っているのは45.7%（回答者ベースでは67.5%）。平均金額は5万100円。

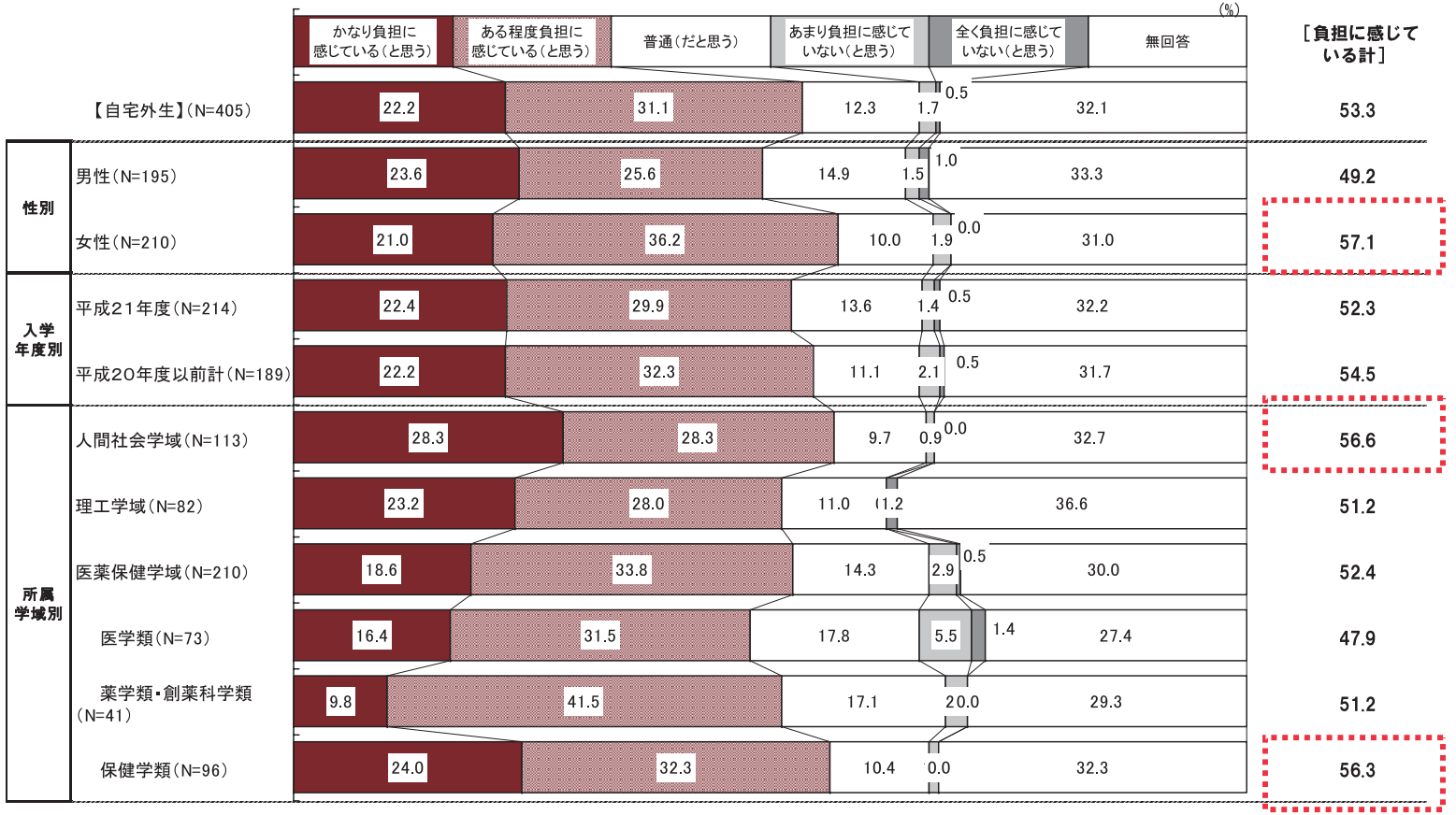


6. 仕送り・大学の授業料・住居に関する費用全てについて保護者等の負担感の程度

■仕送り・大学の授業料・住居に関する費用すべてについて、保護者等が負担に感じていると思うと回答している人は53.3%（回答者ベースで78.5%）。

・女性層、人間社会学域・保健学域で「負担に感じている」と回答した人のスコアがやや高くなっている。

Q10.仕送り・大学の授業料・住居に関する費用全てについての保護者等の負担感の程度



Ⅲ. 経済環境の変化による影響について

～金沢大生は経済環境の変化により どのような支障があると考えているか～

1. 今後の経済環境から考えられる支障の程度

■経済環境から考えられる支障がありそうなものとして、「学内の課外活動」や「趣味・娯楽」を挙げたのは3割弱。

■「学業を中心とした勉学」について支障があると回答した人は12.9%と低い水準に留まっている。

・薬学類・創薬科学類で、学業を中心として勉学に支障がありそうと回答した人が18.9%と全体平均と比べ多くなっている。

Q15.今後の経済環境から考えられる支障の程度

＜支障がありそう計＞

(%)

		N	学業を中心とした勉学	学内の課外活動（サークルなど）	学外の課外活動（ボランティア・NPO団体など）	趣味・娯楽	お金を蓄えること	友人との交流	その他
	【全体】	549	12.9	26.8	6.2	27.3	32.4	14.9	1.1
性別	男性	260	13.5	25.4	6.2	26.9	29.6	16.5	2.3
	女性	288	12.5	28.1	6.3	27.8	35.1	13.5	0.0
入学年度別	平成21年度	303	11.2	27.4	4.6	24.8	28.4	15.2	0.7
	平成20年度以前計	241	14.9	26.1	8.3	31.1	38.2	14.9	1.7
住居形態別	自宅生	139	11.5	26.6	5.0	28.8	31.7	14.4	0.7
	自宅外生	405	13.6	26.9	6.7	26.9	32.8	15.3	1.2
所属学域別	人間社会学域	159	15.7	26.4	8.2	37.1	33.3	15.1	0.6
	理工学域	112	16.1	31.3	4.5	30.4	36.6	16.1	0.9
	医薬保健学域	277	10.1	25.3	5.8	20.6	30.3	14.4	1.4
	医学類	101	5.9	22.8	3.0	13.9	19.8	12.9	0.0
	薬学類・創薬科学類	53	18.9	28.3	7.5	20.8	34.0	17.0	7.5
	保健学類	123	9.8	26.0	7.3	26.0	37.4	14.6	0.0
所属学域別×住居形態別	人間社会学域×自宅生	45	13.3	28.9	6.7	35.6	31.1	15.6	0.0
	人間社会学域×自宅外生	113	16.8	25.7	8.8	37.2	33.6	15.0	0.9
	理工学域×自宅生	29	17.2	27.6	3.4	41.4	34.5	13.8	0.0
	理工学域×自宅外生	82	15.9	31.7	4.9	26.8	37.8	17.1	1.2
	医薬保健学域×自宅生	65	7.7	24.6	4.6	18.5	30.8	13.8	1.5
	医薬保健学域×自宅外生	210	11.0	25.7	6.2	21.4	30.5	14.8	1.4
	医学類×自宅生	26	3.8	34.6	3.8	19.2	19.2	11.5	0.0
	医学類×自宅外生	73	6.8	19.2	2.7	12.3	20.5	13.7	0.0
	薬学類・創薬科学類×自宅生	12	16.7	41.7	16.7	33.3	50.0	16.7	8.3
	薬学類・創薬科学類×自宅外生	41	19.5	24.4	4.9	17.1	29.3	17.1	7.3
	保健学類×自宅生	27	7.4	7.4	0.0	11.1	33.3	14.8	0.0
	保健学類×自宅外生	96	10.4	31.3	9.4	30.2	38.5	14.6	0.0

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

Ⅳ. アルバイト について

～金沢大生のアルバイトの実態と
学生生活への影響度はどの程度か～

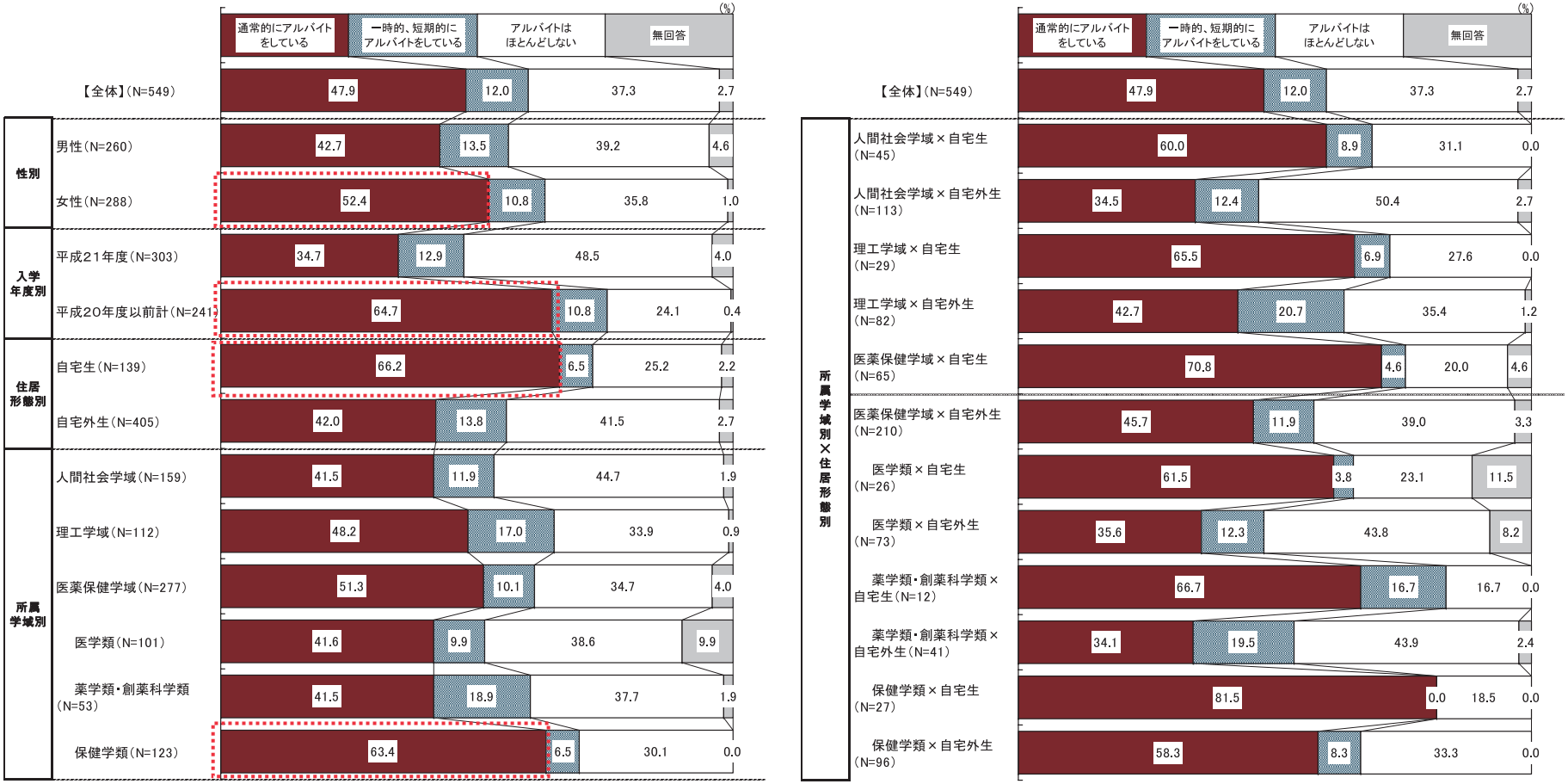
1. 通常の1ヶ月のアルバイト活動の頻度

■「通常的にアルバイトをしている」が47.9%、「一時的・短期的にアルバイトをしている」が12.0%で、合わせて6割がアルバイトを実施。

・“女性”、“平成20年度以前”、“自宅生”で通常的にアルバイトを実施している人が多くなっている。

■学域・学類別でみると、“保健学域”で、通常的にアルバイトを実施している人が目立つ。

Q16.通常の1ヵ月のアルバイト活動の頻度



2. アルバイト平均日数／平均時間

■アルバイト日数は週に2～3日、時間は1日平均4～5時間がメインボリューム。

Q16SQ1.アルバイト平均日数（通常的アルバイト）
Q16SQ1.アルバイト平均時間（通常的アルバイト）

(%)

			週何日									1日何時間											
		N	週に1日	週に2日	週に3日	週に4日	週に5日	週に6日	週に7日	無回答	平均（日）	1日1時間	1日2時間	1日3時間	1日4時間	1日5時間	1日6時間	1日7時間	1日8時間	1日9時間	1日10時間	無回答	平均（時間）
	【全体】	263	14.4	37.3	34.2	7.6	3.8	0.8	0.8	1.1	2.54	0.4	9.9	15.6	23.2	24.0	14.4	6.5	2.7	1.9	0.4	1.1	4.59
性別	男性	111	15.3	34.2	36.0	6.3	3.6	0.9	1.8	1.8	2.58	0.9	11.7	10.8	18.0	27.0	12.6	9.9	3.6	3.6	0.0	1.8	4.79
	女性	151	13.9	39.7	32.5	8.6	4.0	0.7	0.0	0.7	2.51	0.0	8.6	19.2	27.2	21.9	15.2	4.0	2.0	0.7	0.7	0.7	4.43
入学年度別	平成21年度	105	18.1	36.2	36.2	4.8	1.0	1.9	1.0	1.0	2.43	0.0	13.3	17.1	23.8	22.9	13.3	5.7	1.9	1.0	0.0	1.0	4.36
	平成20年度以前計	156	12.2	38.5	32.1	9.6	5.8	0.0	0.6	1.3	2.60	0.6	7.1	14.7	23.1	25.0	14.7	7.1	3.2	2.6	0.6	1.3	4.75
住居形態別	自宅生	92	15.2	37.0	32.6	12.0	3.3	0.0	0.0	0.0	2.51	0.0	13.0	18.5	16.3	32.6	12.0	5.4	1.1	1.1	0.0	0.0	4.38
	自宅外生	170	14.1	37.6	34.7	5.3	4.1	1.2	1.2	1.8	2.55	0.6	8.2	14.1	27.1	19.4	15.3	7.1	3.5	2.4	0.6	1.8	4.69
所属学域別	人間社会学域	66	9.1	39.4	28.8	12.1	7.6	0.0	0.0	3.0	2.69	0.0	6.1	27.3	16.7	28.8	13.6	1.5	3.0	0.0	0.0	3.0	4.34
	理工学域	54	14.8	25.9	46.3	3.7	5.6	1.9	1.9	0.0	2.72	1.9	5.6	9.3	31.5	18.5	13.0	11.1	3.7	5.6	0.0	0.0	4.94
	医薬保健学域	142	16.9	40.8	31.7	7.0	1.4	0.7	0.7	0.7	2.40	0.0	13.4	12.7	23.2	23.9	14.8	7.0	2.1	1.4	0.7	0.7	4.55
	医学類	42	31.0	35.7	23.8	4.8	0.0	0.0	2.4	2.4	2.15	0.0	26.2	19.0	11.9	23.8	9.5	4.8	2.4	0.0	0.0	2.4	3.95
	薬学類・創薬科学類	22	9.1	40.9	40.9	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	2.55	0.0	13.6	13.6	27.3	18.2	13.6	9.1	0.0	4.5	0.0	0.0	4.55
	保健学類	78	11.5	43.6	33.3	9.0	1.3	1.3	0.0	0.0	2.49	0.0	6.4	9.0	28.2	25.6	17.9	7.7	2.6	1.3	1.3	0.0	4.87
所属学域別×住居形態別	人間社会学域×自宅生	27	14.8	33.3	25.9	22.2	3.7	0.0	0.0	0.0	2.67	0.0	7.4	29.6	3.7	40.7	14.8	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.37
	人間社会学域×自宅外生	39	5.1	43.6	30.8	5.1	10.3	0.0	0.0	5.1	2.70	0.0	5.1	25.6	25.6	20.5	12.8	0.0	5.1	0.0	0.0	5.1	4.32
	理工学域×自宅生	19	5.3	36.8	42.1	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	2.74	0.0	5.3	21.1	21.1	26.3	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	4.68
	理工学域×自宅外生	35	20.0	20.0	48.6	0.0	5.7	2.9	2.9	0.0	2.71	2.9	5.7	2.9	37.1	14.3	14.3	11.4	2.9	8.6	0.0	0.0	5.09
	医薬保健学域×自宅生	46	19.6	39.1	32.6	6.5	2.2	0.0	0.0	0.0	2.33	0.0	19.6	10.9	21.7	30.4	10.9	4.3	0.0	2.2	0.0	0.0	4.26
	医薬保健学域×自宅外生	96	15.6	41.7	31.3	7.3	1.0	1.0	1.0	1.0	2.43	0.0	10.4	13.5	24.0	20.8	16.7	8.3	3.1	1.0	1.0	1.0	4.69
	医学類×自宅生	16	31.3	43.8	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.00	0.0	25.0	18.8	12.5	31.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.94
	医学類×自宅外生	26	30.8	30.8	26.9	3.8	0.0	0.0	3.8	3.8	2.24	0.0	26.9	19.2	11.5	19.2	11.5	3.8	3.8	0.0	0.0	3.8	3.96
	薬学類・創薬科学類×自宅生	8	25.0	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.38	0.0	37.5	0.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.75
	薬学類・創薬科学類×自宅外生	14	0.0	50.0	42.9	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	2.64	0.0	0.0	21.4	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	5.00
	保健学類×自宅生	22	9.1	40.9	40.9	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	2.55	0.0	9.1	9.1	27.3	31.8	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	4.68
	保健学類×自宅外生	56	12.5	44.6	30.4	10.7	0.0	1.8	0.0	0.0	2.46	0.0	5.4	8.9	28.6	23.2	19.6	8.9	3.6	0.0	1.8	0.0	4.95

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

3. アルバイト活動により何かしらの支障が生じている対象

■アルバイト活動により何らかの支障が生じている対象は、「学業」が28.9%で最も多い。
一方、「無回答」も39.8%見られた。

- •学域別でみると、“保健学類”でスコアがやや高い。
- •入学年度別でみると、“平成20年度以前”で、支障を感じている人がおよそ4割みられる。

■次いで、「サークル活動」が23.4%、「趣味・娯楽」で21.9%が挙げられている。

Q17.アルバイト活動により何かしらの支障が生じている対象

アルバイト実施者ベース

(%)

		N	学業	学業以外の勉学	サークル活動	その他課外活動	趣味・娯楽	友人づくり	友人との交流	無回答
	【全体】	329	28.9	11.2	23.4	4.6	21.9	4.6	18.5	39.8
性別	男性	146	28.1	8.9	24.0	4.1	20.5	4.8	13.7	42.5
	女性	182	29.1	13.2	23.1	4.9	23.1	4.4	22.5	37.9
入学年度別	平成21年度	144	18.1	5.6	21.5	4.9	20.8	4.9	12.5	50.7
	平成20年度以前計	182	37.4	15.9	25.3	4.4	23.1	4.4	23.6	30.8
住居形態別	自宅生	101	23.8	14.9	29.7	4.0	25.7	5.9	20.8	36.6
	自宅外生	226	31.0	9.7	20.8	4.9	20.4	4.0	17.7	41.2
所属学域別	人間社会学域	85	28.2	15.3	22.4	7.1	25.9	9.4	18.8	37.6
	理工学域	73	31.5	13.7	26.0	6.8	28.8	5.5	16.4	39.7
	医薬保健学域	170	27.6	8.2	22.9	2.4	17.1	1.8	19.4	41.2
	医学類	52	21.2	7.7	15.4	0.0	11.5	0.0	7.7	51.9
	薬学類・創薬科学類	32	25.0	9.4	15.6	0.0	9.4	0.0	15.6	43.8
	保健学類	86	32.6	8.1	30.2	4.7	23.3	3.5	27.9	33.7
所属学域別×住居形態別	人間社会学域×自宅生	31	29.0	12.9	29.0	6.5	29.0	12.9	22.6	25.8
	人間社会学域×自宅外生	53	28.3	17.0	18.9	7.5	24.5	7.5	17.0	43.4
	理工学域×自宅生	21	28.6	19.0	42.9	4.8	38.1	9.5	33.3	38.1
	理工学域×自宅外生	52	32.7	11.5	19.2	7.7	25.0	3.8	9.6	40.4
	医薬保健学域×自宅生	49	18.4	14.3	24.5	2.0	18.4	0.0	14.3	42.9
	医薬保健学域×自宅外生	121	31.4	5.8	22.3	2.5	16.5	2.5	21.5	40.5
	医学類×自宅生	17	17.6	11.8	17.6	0.0	17.6	0.0	5.9	52.9
	医学類×自宅外生	35	22.9	5.7	14.3	0.0	8.6	0.0	8.6	51.4
	薬学類・創薬科学類×自宅生	10	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0
	薬学類・創薬科学類×自宅外生	22	31.8	4.5	13.6	0.0	13.6	0.0	13.6	45.5
	保健学類×自宅生	22	22.7	13.6	31.8	4.5	27.3	0.0	18.2	36.4
	保健学類×自宅外生	64	35.9	6.3	29.7	4.7	21.9	4.7	31.3	32.8

※N=30以上　■:全体より10ポイント以上高い、■:全体より5ポイント以上高い
■:全体より10ポイント以上低い、■:全体より5ポイント以上低い

3. アルバイト活動により何かしらの支障が生じている対象

■アルバイトの実施頻度別でみると、アルバイトの実施頻度が高くなるにつれ、「学業」に支障をきたすという人が多くなっている。
■また、「学業以外の勉学」「趣味・娯楽」「友人との交流」についても、支障をきたしていると回答した人が目立つ。

Q17.アルバイト活動により何かしらの支障が生じている対象

アルバイト実施者ベース

(%)

		N	学業	学業以外の勉学	サークル活動	その他課外活動	趣味・娯楽	友人づくり	友人との交流	無回答
	【全体】	329	28.9	11.2	23.4	4.6	21.9	4.6	18.5	39.8
アルバイト頻度別	通常的にアルバイトをしている人計	263	31.6	13.3	25.9	5.7	24.3	5.3	20.2	35.4
	週に1日	38	18.4	7.9	31.6	0.0	18.4	0.0	10.5	42.1
	週に2日	98	30.6	8.2	21.4	5.1	22.4	5.1	15.3	37.8
	週に3日	90	33.3	13.3	28.9	6.7	26.7	3.3	22.2	34.4
	週に4日以上	34	44.1	35.3	26.5	8.8	32.4	14.7	41.2	23.5
	一時的、短期的にアルバイトをいている人計	66	18.2	3.0	13.6	0.0	12.1	1.5	12.1	57.6

※N=30以上　■:全体より10ポイント以上高い、■:全体より5ポイント以上高い
■:全体より10ポイント以上低い、■:全体より5ポイント以上低い

Ⅴ. 金沢大学の施設や計画・制度等について

～金沢大生は、施設や計画・制度にどの程度満足しているのか～

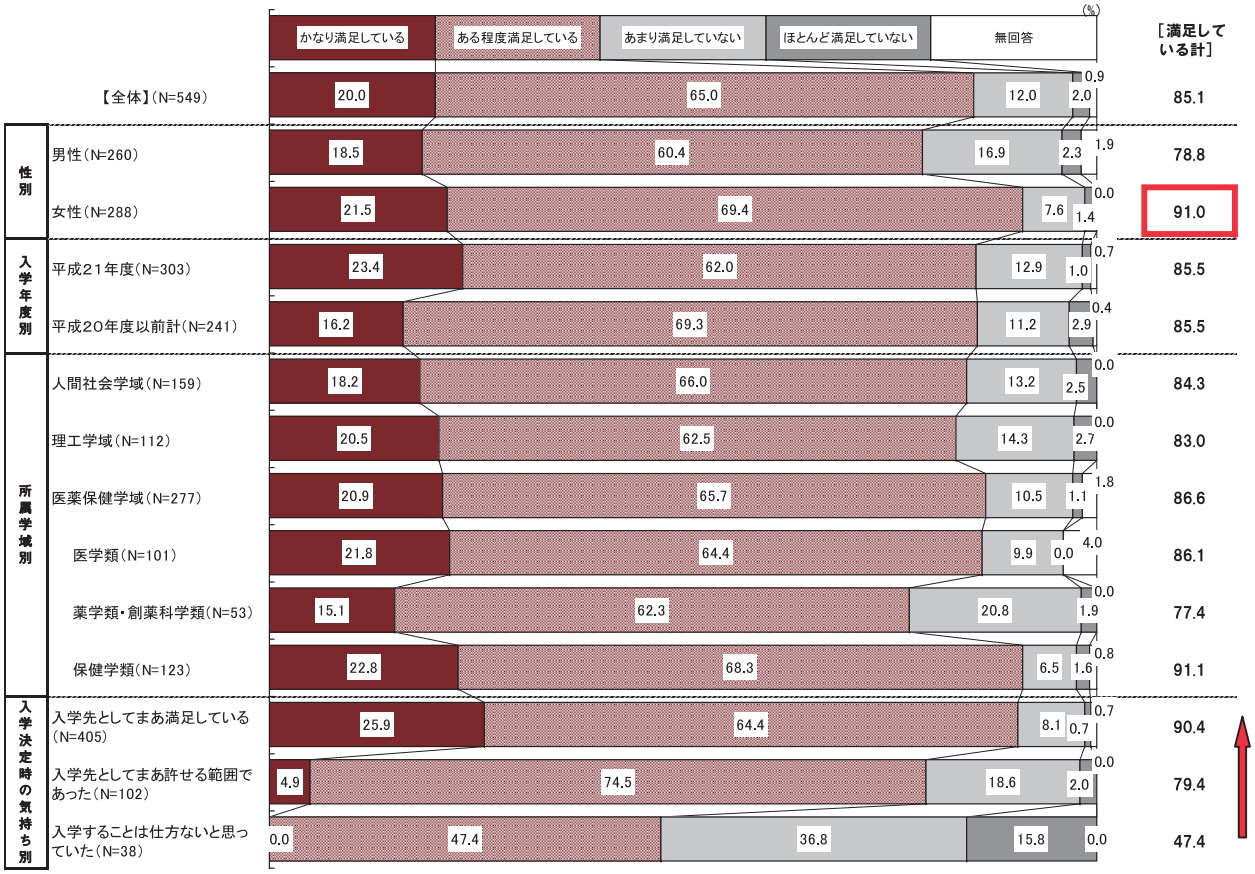
1. 本学への全体満足度

■金沢大学への全体満足度は満足計で85.1%。「かなり満足している」が20.0%。

・性別でみると、“女性”のほうが満足度は高い。

■入学決定時の気持ち別でみると、満足度の高い層のほうが、本学の全体満足度も高い傾向がみられる。

Q2.本学への全般的な満足度



2. 本学の福利厚生施設等の利用状況

■福利厚生施設等の利用状況をみると、「大学会館（食堂）」と「図書館」の利用率が高い。

■スポーツ施設は、全般的に“男性”の利用が多くなっている。

•ただし、スポーツ施設は、利用が1～2割程度に留まっている。

•また、サークル棟は利用率が39.7%に留まっており、利用したくても利用できない学生がみられる。

Q26.本学の福利厚生施設等の利用状況

(%)

		N	大学会館（食堂）	北福利施設（食堂）	中福利施設（食堂）	南福利施設（食堂）	医学類福利施設（食堂）	保健学類福利施設（食堂）	病院地下（食堂）	大学会館	サークル棟	体育館	陸上競技場	多目的運動場	ソフトボール場	サッカー場	ラクビー場	テニスコート（硬式）	テニスコート（軟式）	プール	集会室・ロビー・談話室	図書館
	【全体】	549	95.8	61.7	52.8	48.1	28.2	35.7	12.6	70.7	39.7	42.5	17.6	15.9	23.3	14.9	13.0	19.3	16.8	10.7	62.7	94.2
性別	男性	260	94.6	66.9	65.0	59.2	35.8	28.5	19.6	67.7	39.2	43.8	23.4	22.3	28.0	23.0	18.8	24.2	21.5	16.5	57.7	90.4
	女性	288	96.9	57.0	41.7	37.8	21.2	42.0	5.9	73.3	39.9	41.0	12.1	9.7	18.7	7.3	7.3	14.6	12.2	5.2	67.0	97.6
入学年度別	平成21年度	303	96.1	61.4	52.5	46.5	33.0	31.3	15.2	70.3	41.2	38.6	19.2	17.8	25.5	18.2	16.2	19.5	16.2	12.9	66.4	92.4
	平成20年度以前計	241	96.7	63.1	53.9	50.6	22.4	41.5	9.1	72.2	38.2	47.3	15.7	13.2	20.8	10.8	8.7	18.6	17.0	7.9	58.5	97.1
所属学域別	人間社会学域	159	98.2	83.0	37.8	29.5	6.3	5.7	4.4	83.0	47.8	39.6	13.2	10.6	18.9	10.7	8.2	10.6	6.9	5.0	67.3	96.9
	理工学域	112	97.3	64.3	75.0	70.5	8.9	8.1	7.2	79.5	34.0	40.1	17.9	16.1	25.0	15.2	9.8	16.1	15.2	8.1	66.1	97.3
	医薬保健学域	277	93.9	48.3	52.4	49.5	48.3	63.9	19.2	60.0	37.2	44.8	19.9	18.5	24.9	16.9	16.6	25.3	22.8	14.8	58.5	91.3
	医学類	101	91.1	53.4	60.4	53.4	86.1	51.5	33.7	47.6	41.6	47.6	27.7	26.7	28.7	27.7	27.7	34.6	27.7	23.7	55.5	81.2
	薬学類・創薬科学類	53	92.4	39.6	60.4	69.8	28.3	13.2	13.2	52.8	17.0	47.2	11.3	13.2	18.9	13.2	11.3	32.1	34.0	13.2	50.9	94.3
	保健学類	123	96.8	48.0	42.3	37.4	26.0	95.9	9.7	73.2	42.3	41.5	17.1	13.9	24.4	9.7	9.8	14.7	13.9	8.1	64.2	98.4
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	59	96.6	81.3	45.8	37.3	8.5	6.8	6.8	72.9	47.4	40.7	17.0	17.0	20.4	18.7	11.9	15.3	13.6	10.2	61.1	93.2
	人間社会学域×女性	100	99.0	84.0	33.0	25.0	5.0	5.0	3.0	89.0	48.0	39.0	11.0	7.0	18.0	6.0	6.0	8.0	3.0	2.0	71.0	99.0
	理工学域×男性	90	97.8	63.3	76.7	72.2	10.0	7.8	7.8	77.8	32.3	42.2	20.0	16.6	26.7	17.7	11.1	16.6	16.7	8.9	61.1	96.7
	理工学域×女性	22	95.5	68.1	68.1	63.6	4.5	9.0	4.5	86.3	40.9	31.8	9.0	13.6	18.1	4.5	4.5	13.6	9.1	4.5	86.4	100.0
	医薬保健学域×男性	111	91.0	62.1	65.7	60.3	71.1	56.7	36.0	56.7	40.5	46.8	29.7	29.7	33.3	29.7	28.8	35.1	29.7	26.1	53.1	83.8
	医薬保健学域×女性	166	95.8	39.1	43.3	42.2	33.2	68.6	7.8	62.0	35.0	43.3	13.2	10.8	19.3	8.4	8.4	18.7	18.1	7.2	62.1	96.4
	医学類×男性	76	89.4	57.9	64.5	57.9	84.2	59.2	40.7	50.0	42.1	48.7	30.2	30.2	31.5	31.5	31.6	34.2	30.2	26.3	54.0	79.0
	医学類×女性	25	96.0	40.0	48.0	40.0	92.0	28.0	12.0	40.0	40.0	44.0	20.0	16.0	20.0	16.0	16.0	36.0	20.0	16.0	60.0	88.0
	薬学類・創薬科学類×男性	21	90.4	61.9	71.4	76.2	47.6	23.8	28.6	61.9	23.8	52.4	23.8	28.6	33.3	23.8	23.8	42.9	33.3	28.6	38.1	90.5
	薬学類・創薬科学類×女性	32	93.8	25.1	53.1	65.6	15.6	6.3	3.1	46.9	12.5	43.7	3.1	3.1	9.4	6.3	3.1	25.0	34.4	3.1	59.4	96.9
	保健学類×男性	14	100.0	85.7	64.2	50.0	35.7	92.9	21.4	85.7	57.1	28.6	35.7	28.6	42.9	28.6	21.4	28.6	21.4	21.4	71.4	100.0
	保健学類×女性	109	96.4	43.1	39.5	35.7	24.7	96.3	8.2	71.6	40.3	43.1	14.7	11.9	22.0	7.4	8.3	12.9	12.9	6.5	63.3	98.2

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

3. 本学の福利厚生施設等の満足度

■福利厚生施設等の利用満足度は、全般的に高い。特に、「図書館」の利用満足度は84.9%と高い。

•所属学域別でみると、“医学類”“薬学類・創薬科学類”は図書館の利用満足度はやや低め。

■性別でみると、各施設とも、概ね女性のほうが満足度は高くなっている。

■満足度があまり高くない施設として、「サークル棟」(50.5%)、「医学類福利施設(食堂)」(49.0%)が挙げられる。

・「サークル棟」を利用できないことが、満足度の低さに繋がっている可能性が考えられる。

利用経験者ベース

＜TOP2BOX計＞
満足している
＋
やや満足している

Q26.本学の福利厚生施設等の満足度

		大学会館（食堂）	北福利施設（食堂）	中福利施設（食堂）	南福利施設（食堂）	医学類福利施設（食堂）	保健学類福利施設（食堂）	病院地下（食堂）	大学会館	サークル棟	体育館	陸上競技場	多目的運動場	ソフトボール場	サッカー場	ラクビー場	テニスコート（硬式）	テニスコート（軟式）	プール	集会室・ロビー・談話室	図書館
	【各利用者】	79.1	75.5	73.4	85.6	49.0	59.2	81.2	82.7	50.5	82.0	73.2	72.4	68.0	74.4	74.6	77.4	75.0	74.6	79.7	84.9
性別	男性	74.0	69.5	65.7	79.2	48.4	78.4	80.4	81.8	52.0	78.9	70.5	74.1	68.5	71.7	75.5	73.0	67.9	74.4	82.0	80.0
	女性	83.9	82.3	85.0	95.4	50.8	47.9	88.2	83.9	49.6	85.6	80.0	71.4	68.5	85.7	76.2	85.7	88.6	80.0	78.2	89.3
入学年度別	平成21年度	76.3	75.8	73.6	80.9	42.0	67.4	80.4	83.6	56.8	79.5	74.1	74.1	71.4	72.7	75.5	78.0	75.5	74.4	82.6	88.6
	平成20年度以前計	82.8	75.7	73.8	91.8	63.0	52.0	86.4	82.2	42.4	85.1	73.7	71.9	64.0	80.8	76.2	77.8	75.6	78.9	76.6	81.6
所属学域別	人間社会学域	78.8	73.5						83.3	53.9	88.9										89.0
	理工学域	75.2		65.5	84.8				86.5	50.0	82.2										86.2
	医薬保健学域	81.2						79.2	80.7	48.5	79.0										82.2
	医学類	72.8				29.9		73.5	70.8	52.4	72.9										78.0
	薬学類・創薬科学類	75.5			94.6			100.0	82.1	66.7	96.0										72.0
	保健学類	89.9					46.6	83.3	85.6	42.3	76.5										89.3
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	75.4	62.5						81.4	42.9	79.2										81.8
	人間社会学域×女性	80.8	79.8						84.3	60.4	94.9										92.9
	理工学域×男性	73.9		62.3	81.5				87.1	51.7	78.9										83.9
	理工学域×女性	81.0		80.0	100.0				84.2	44.4	100.0										95.5
	医薬保健学域×男性	73.3						77.5	76.2	57.8	78.8										75.3
	医薬保健学域×女性	86.2						84.6	83.5	41.4	79.2										86.3
	医学類×男性	69.1				31.3		71.0	68.4	56.3	70.3										71.7
	医学類×女性	83.3				26.1		100.0	80.0	40.0	81.8										95.5
	薬学類・創薬科学類×男性	78.9			93.8			100.0	92.3	100.0	100.0										73.7
	薬学類・創薬科学類×女性	73.3			95.2			100.0	73.3	25.0	92.9										71.0
	保健学類×男性	85.7					69.2	100.0	83.3	37.5	100.0										92.9
	保健学類×女性	90.5					43.8	77.8	85.9	43.2	74.5										88.8

4. 本学の福利厚生施設等の不満足度

■福利厚生施設等の不満度は、「医学類福利施設（食堂）」と「サークル棟」が半数と他の施設と比べ高くなっている。
次いで、「保健学類福利施設（食堂）」が40.8%挙げられている。

利用経験者ベース

＜BOTTOM2BOX計＞
あまり満足していない
＋
満足していない

Q26.本学の福利厚生施設等の満足度

(%)

		大学会館（食堂）	北福利施設（食堂）	中福利施設（食堂）	南福利施設（食堂）	医学類福利施設（食堂）	保健学類福利施設（食堂）	病院地下（食堂）	大学会館	サークル棟	体育館	陸上競技場	多目的運動場	ソフトボール場	サッカー場	ラクビー場	テニスコート（硬式）	テニスコート（軟式）	プール	集会室・ロビー・談話室	図書館
	【各利用者】	20.9	24.5	26.6	14.4	51.0	40.8	18.8	17.3	49.5	18.0	26.8	27.6	32.0	25.6	25.4	22.6	25.0	25.4	20.3	15.1
性別	男性	26.0	30.5	34.3	20.8	51.6	21.6	19.6	18.2	48.0	21.1	29.5	25.9	31.5	28.3	24.5	27.0	32.1	25.6	18.0	20.0
	女性	16.1	17.7	15.0	4.6	49.2	52.1	11.8	16.1	50.4	14.4	20.0	28.6	31.5	14.3	23.8	14.3	11.4	20.0	21.8	10.7
入学年度別	平成21年度	23.7	24.2	26.4	19.1	58.0	32.6	19.6	16.4	43.2	20.5	25.9	25.9	28.6	27.3	24.5	22.0	24.5	25.6	17.4	11.4
	平成20年度以前計	17.2	24.3	26.2	8.2	37.0	48.0	13.6	17.8	57.6	14.9	26.3	28.1	36.0	19.2	23.8	22.2	24.4	21.1	23.4	18.4
所属学域別	人間社会学域	21.2	26.5						16.7	46.1	11.1										11.0
	理工学域	24.8		34.5	15.2				13.5	50.0	17.8										13.8
	医薬保健学域	18.8						20.8	19.3	51.5	21.0										17.8
	医学類	27.2				70.1		26.5	29.2	47.6	27.1										22.0
	薬学類・創薬科学類	24.5			5.4			0.0	17.9	33.3	4.0										28.0
	保健学類	10.1					53.4	16.7	14.4	57.7	23.5										10.7
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	24.6	37.5						18.6	57.1	20.8										18.2
	人間社会学域×女性	19.2	20.2						15.7	39.6	5.1										7.1
	理工学域×男性	26.1		37.7	18.5				12.9	48.3	21.1										16.1
	理工学域×女性	19.0		20.0	0.0				15.8	55.6	0.0										4.5
	医薬保健学域×男性	26.7						22.5	23.8	42.2	21.2										24.7
	医薬保健学域×女性	13.8						15.4	16.5	58.6	20.8										13.8
	医学類×男性	30.9				68.8		29.0	31.6	43.8	29.7										28.3
	医学類×女性	16.7				73.9		0.0	20.0	60.0	18.2										4.5
	薬学類・創薬科学類×男性	21.1			6.3			0.0	7.7	0.0	0.0										26.3
	薬学類・創薬科学類×女性	26.7			4.8			0.0	26.7	75.0	7.1										29.0
	保健学類×男性	14.3					30.8	0.0	16.7	62.5	0.0										7.1
	保健学類×女性	9.5					56.2	22.2	14.1	56.8	25.5										11.2

5. 本学の施設・制度等の認知状況

- 本学の施設・制度の認知は、「保健管理センター」が61.6%。「なんでも相談室『よるまっし』」が47.4%。
- 人間社会学域は、「副専攻制度」「転学域・転学類・転コース制度」の認知がおよそ50%。
  「なんでも相談室『よるまっし』」「保健管理センター」「就職支援室」「角間ランチョンセミナー」も他学域・学類と比べ認知のスコアは高い。
- 「アドバイス教員制度」は、理工学域と薬学類・創薬科学類で認知度は高くなっている。

Q28.本学施設・制度の認知

＜TOP2BOX計＞
内容について、
具体的に知っていた
＋
内容について、
少しは知っていた

(%)

		N	副専攻制度	転学域・転学類・転コース	休学制度	アドバイス教員（クラス担任）制度	学類相談室	なんでも相談室「よるまっし」	ピア・サポート・ルーム	保健管理センター	就職支援室	角間ランチョンセミナー
	【全体】	549	28.2	37.0	17.1	38.6	16.9	47.4	8.7	61.6	28.2	31.7
性別	男性	260	27.7	32.3	17.3	33.5	18.5	38.1	9.2	52.3	29.2	22.7
	女性	288	28.8	41.3	17.0	43.4	15.6	55.9	8.3	70.1	27.4	39.9
入学年度別	平成21年度	303	20.8	30.7	17.5	31.7	16.8	43.6	8.9	48.5	23.8	28.1
	平成20年度以前計	241	38.2	45.2	17.0	47.3	17.0	52.7	8.7	78.8	34.4	36.5
所属学域別	人間社会学域	159	49.1	54.1	19.5	33.3	16.4	56.6	13.2	66.7	41.5	44.0
	理工学域	112	37.5	46.4	20.5	49.1	23.2	49.1	7.1	62.5	33.9	30.4
	医薬保健学域	277	12.6	23.5	14.4	37.5	14.8	41.5	6.9	58.5	18.4	25.3
	医学類	101	8.9	15.8	15.8	14.9	10.9	26.7	5.9	38.6	12.9	19.8
	薬学類・創薬科学類	53	9.4	17.0	13.2	67.9	13.2	34.0	7.5	64.2	28.3	18.9
	保健学類	123	17.1	32.5	13.8	43.1	18.7	56.9	7.3	72.4	18.7	32.5
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	59	52.5	47.5	15.3	32.2	16.9	40.7	13.6	55.9	39.0	30.5
	人間社会学域×女性	100	47.0	58.0	22.0	34.0	16.0	66.0	13.0	73.0	43.0	52.0
	理工学域×男性	90	32.2	42.2	20.0	44.4	23.3	47.8	8.9	60.0	33.3	26.7
	理工学域×女性	22	59.1	63.6	22.7	68.2	22.7	54.5	0.0	72.7	36.4	45.5
	医薬保健学域×男性	111	10.8	16.2	16.2	25.2	15.3	28.8	7.2	44.1	20.7	15.3
	医薬保健学域×女性	166	13.9	28.3	13.3	45.8	14.5	50.0	6.6	68.1	16.9	31.9
	医学類×男性	76	10.5	11.8	17.1	14.5	11.8	21.1	6.6	36.8	11.8	13.2
	医学類×女性	25	4.0	28.0	12.0	16.0	8.0	44.0	4.0	44.0	16.0	40.0
	薬学類・創薬科学類×男性	21	9.5	14.3	14.3	52.4	19.0	38.1	9.5	61.9	47.6	19.0
	薬学類・創薬科学類×女性	32	9.4	18.8	12.5	78.1	9.4	31.3	6.3	65.6	15.6	18.8
	保健学類×男性	14	14.3	42.9	14.3	42.9	28.6	57.1	7.1	57.1	28.6	21.4
	保健学類×女性	109	17.4	31.2	13.8	43.1	17.4	56.9	7.3	74.3	17.4	33.9

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

6. 本学の施設・制度等の利用状況

- 利用／参加経験のあるものは、「保健管理センター」が最も多く全体で41.2%。
- 次いで、「なんでも相談室『よるまっし』」が21.3%、「アドバイス教員制度」「角間ランチョンセミナー」（それぞれ15%）が挙げられている。
  - •性別でみると、女性のほうが利用／参加経験のあるものが多くなっている。
  - •所属学域別では、人間社会学域で「保健管理センター」「角間ランチョンセミナー」の利用経験が多くなっている。
- 入学年度別でみると、「保健管理センター」は、利用経験で差がみられるが、他の施設・制度はほとんど差異がみられない。

Q29.本学の施設・制度について当てはまるもの

＜利用／参加経験のあるもの＞

(%)

		N	副専攻制度	転学域・転学類・転コース	休学制度	アドバイス教員（クラス担任）制度	学類相談室	なんでも相談室「よるまっし」	ピア・サポート・ルーム	保健管理センター	就職支援室	角間ランチョンセミナー	無回答
	【全体】	549	3.5	1.6	0.9	15.1	1.6	21.3	1.5	41.2	1.6	15.5	47.7
性別	男性	260	3.5	2.7	1.5	11.9	2.3	16.9	2.3	32.3	2.3	9.2	60.4
	女性	288	3.5	0.7	0.3	18.1	1.0	25.3	0.7	49.3	1.0	21.2	36.1
入学年度別	平成21年度	303	3.0	1.7	1.0	13.5	1.7	22.8	1.7	32.0	1.7	14.5	53.8
	平成20年度以前計	241	4.1	1.7	0.8	17.0	1.7	19.9	1.2	53.1	1.7	17.0	39.8
所属学域別	人間社会学域	159	6.9	1.9	0.0	12.6	1.9	25.8	1.3	53.5	1.3	26.4	33.3
	理工学域	112	2.7	0.9	0.9	15.2	1.8	21.4	2.7	38.4	0.9	14.3	53.6
	医薬保健学域	277	1.8	1.8	1.4	16.6	1.4	18.8	1.1	35.4	2.2	9.7	53.4
	医学類	101	3.0	4.0	2.0	3.0	3.0	18.8	3.0	17.8	4.0	5.0	71.3
	薬学類・創薬科学類	53	1.9	0.0	1.9	49.1	1.9	11.3	0.0	34.0	3.8	3.8	47.2
	保健学類	123	0.8	0.8	0.8	13.8	0.0	22.0	0.0	50.4	0.0	16.3	41.5
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	59	5.1	3.4	0.0	15.3	1.7	15.3	1.7	47.5	0.0	18.6	40.7
	人間社会学域×女性	100	8.0	1.0	0.0	11.0	2.0	32.0	1.0	57.0	2.0	31.0	29.0
	理工学域×男性	90	2.2	1.1	1.1	8.9	1.1	20.0	2.2	32.2	1.1	10.0	62.2
	理工学域×女性	22	4.5	0.0	0.0	40.9	4.5	27.3	4.5	63.6	0.0	31.8	18.2
	医薬保健学域×男性	111	3.6	3.6	2.7	12.6	3.6	15.3	2.7	24.3	4.5	3.6	69.4
	医薬保健学域×女性	166	0.6	0.6	0.6	19.3	0.0	21.1	0.0	42.8	0.6	13.9	42.8
	医学類×男性	76	3.9	5.3	2.6	3.9	3.9	15.8	3.9	17.1	5.3	3.9	77.6
	医学類×女性	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	0.0	20.0	0.0	8.0	52.0
	薬学類・創薬科学類×男性	21	4.8	0.0	4.8	42.9	4.8	9.5	0.0	28.6	4.8	4.8	57.1
	薬学類・創薬科学類×女性	32	0.0	0.0	0.0	53.1	0.0	12.5	0.0	37.5	3.1	3.1	40.6
	保健学類×男性	14	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	21.4	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9
	保健学類×女性	109	0.9	0.9	0.9	13.8	0.0	22.0	0.0	49.5	0.0	18.3	41.3

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

7. 本学の施設・制度等の興味・関心度

■興味・関心のある制度は、「副専攻制度」「転学域・転学類・転コース」、施設としては、「就職支援室」が上位に。
- 「副専攻制度」は“人間社会学域”、「就職支援室」は“理工学域”で興味・関心が高くなっている。

■入学年度別でみると、「就職支援室」は、平成20年度以前のほうが、平成21年度に比べ、興味・関心は高いが、他の施設・制度については、ほぼ同じ。

Q29.本学の施設・制度について当てはまるもの

＜現在、興味や関心のあるもの＞

(%)

		N	副専攻制度	転学域・転学類・転コース	休学制度	アドバイス教員（クラス担任）制度	学類相談室	なんでも相談室「よるまっし」	ピア・サポート・ルーム	保健管理センター	就職支援室	角間ランチョンセミナー	無回答
	【全体】	549	22.6	17.3	14.2	13.8	15.5	11.8	15.1	8.6	18.6	13.8	61.6
性別	男性	260	22.3	18.5	15.4	13.8	16.5	11.2	15.0	9.6	20.4	16.5	65.8
	女性	288	22.9	16.3	13.2	13.9	14.6	12.5	15.3	7.6	17.0	11.5	57.6
入学年度別	平成21年度	303	22.1	18.5	15.2	15.5	17.5	13.2	16.2	8.9	16.5	14.5	63.0
	平成20年度以前計	241	23.7	16.2	13.3	12.0	13.3	10.4	14.1	8.3	21.6	13.3	58.9
所属学域別	人間社会学域	159	35.8	22.0	18.9	18.9	19.5	15.7	20.1	6.3	22.6	16.4	43.4
	理工学域	112	28.6	23.2	16.1	17.9	21.4	16.1	16.1	13.4	25.9	17.9	48.2
	医薬保健学域	277	12.6	12.3	10.8	9.4	10.8	7.9	11.9	7.9	13.4	10.8	77.3
	医学類	101	8.9	8.9	7.9	9.9	9.9	5.9	9.9	8.9	8.9	10.9	87.1
	薬学類・創薬科学類	53	11.3	7.5	7.5	3.8	7.5	11.3	11.3	7.5	15.1	11.3	77.4
	保健学類	123	16.3	17.1	14.6	11.4	13.0	8.1	13.8	7.3	16.3	10.6	69.1
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	59	39.0	25.4	20.3	13.6	18.6	13.6	20.3	3.4	28.8	20.3	49.2
	人間社会学域×女性	100	34.0	20.0	18.0	22.0	20.0	17.0	20.0	8.0	19.0	14.0	40.0
	理工学域×男性	90	27.8	25.6	18.9	18.9	23.3	15.6	16.7	15.6	26.7	21.1	52.2
	理工学域×女性	22	31.8	13.6	4.5	13.6	13.6	18.2	13.6	4.5	22.7	4.5	31.8
	医薬保健学域×男性	111	9.0	9.0	9.9	9.9	9.9	6.3	10.8	8.1	10.8	10.8	85.6
	医薬保健学域×女性	166	15.1	14.5	11.4	9.0	11.4	9.0	12.7	7.8	15.1	10.8	71.7
	医学類×男性	76	10.5	9.2	9.2	11.8	11.8	7.9	11.8	9.2	10.5	11.8	88.2
	医学類×女性	25	4.0	8.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	8.0	4.0	8.0	84.0
	薬学類・創薬科学類×男性	21	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	9.5	4.8	85.7
	薬学類・創薬科学類×女性	32	18.8	9.4	9.4	6.3	12.5	18.8	15.6	9.4	18.8	15.6	71.9
	保健学類×男性	14	14.3	14.3	21.4	14.3	14.3	7.1	14.3	7.1	14.3	14.3	71.4
	保健学類×女性	109	16.5	17.4	13.8	11.0	12.8	8.3	13.8	7.3	16.5	10.1	68.8

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

8. 本学の施設・制度等の今後の利用意向度

■今後、利用／参加してみたい制度として、「アドバイス教員制度」が最も多く挙げられた。
■施設としては、「就職支援室」「学類相談室」を挙げる人が多くなっている。
　•「就職支援室」は、特に“人間社会学域”で、利用／参加意向が高くなっている。
■入学年度別でみると、利用意向は平成21年度のほうが全般的に高く、平成20年度以前のほうが低いスコアに留まっている。

Q29.本学の施設・制度について当てはまるもの

＜今後、利用／参加してみたいもの＞

(%)

		N	副専攻制度	転学域・転学類・転コース	休学制度	アドバイス教員（クラス担任）制度	学類相談室	なんでも相談室「よるまっし」	ピア・サポート・ルーム	保健管理センター	就職支援室	角間ランチョンセミナー	無回答
	【全体】	549	21.3	18.4	20.6	24.2	27.1	18.6	21.1	17.3	34.2	19.1	52.5
性別	男性	260	19.6	16.5	20.0	23.1	20.8	16.5	19.2	17.3	28.8	18.1	60.4
	女性	288	22.9	20.1	21.2	25.3	33.0	20.5	22.9	17.4	39.2	20.1	45.1
入学年度別	平成21年度	303	23.8	20.1	21.5	26.1	29.4	21.5	23.1	21.5	34.0	22.4	53.1
	平成20年度以前計	241	18.7	16.6	19.9	22.4	24.9	15.4	19.1	12.4	35.3	15.4	50.6
所属学域別	人間社会学域	159	20.1	16.4	17.0	26.4	28.9	18.2	20.8	17.0	44.7	17.0	39.6
	理工学域	112	25.9	22.3	27.7	32.1	28.6	19.6	25.0	24.1	40.2	25.0	45.5
	医薬保健学域	277	20.2	18.1	19.9	19.9	25.6	18.4	19.9	14.8	26.0	18.1	62.5
	医学類	101	12.9	11.9	13.9	13.9	15.8	9.9	12.9	10.9	12.9	12.9	77.2
	薬学類・創薬科学類	53	13.2	11.3	11.3	9.4	20.8	11.3	13.2	9.4	20.8	15.1	69.8
	保健学類	123	29.3	26.0	28.5	29.3	35.8	28.5	28.5	20.3	39.0	23.6	47.2
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	59	20.3	15.3	16.9	25.4	23.7	20.3	20.3	20.3	39.0	15.3	49.2
	人間社会学域×女性	100	20.0	17.0	17.0	27.0	32.0	17.0	21.0	15.0	48.0	18.0	34.0
	理工学域×男性	90	25.6	22.2	30.0	33.3	27.8	21.1	26.7	24.4	40.0	24.4	47.8
	理工学域×女性	22	27.3	22.7	18.2	27.3	31.8	13.6	18.2	22.7	40.9	27.3	36.4
	医薬保健学域×男性	111	14.4	12.6	13.5	13.5	13.5	10.8	12.6	9.9	14.4	14.4	76.6
	医薬保健学域×女性	166	24.1	21.7	24.1	24.1	33.7	23.5	24.7	18.1	33.7	20.5	53.0
	医学類×男性	76	11.8	10.5	13.2	11.8	13.2	9.2	11.8	10.5	11.8	13.2	78.9
	医学類×女性	25	16.0	16.0	16.0	20.0	24.0	12.0	16.0	12.0	16.0	12.0	72.0
	薬学類・創薬科学類×男性	21	19.0	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	9.5	14.3	19.0	81.0
	薬学類・創薬科学類×女性	32	9.4	9.4	9.4	6.3	25.0	9.4	12.5	9.4	25.0	12.5	62.5
	保健学類×男性	14	21.4	21.4	14.3	21.4	14.3	14.3	14.3	7.1	28.6	14.3	57.1
	保健学類×女性	109	30.3	26.6	30.3	30.3	38.5	30.3	30.3	22.0	40.4	24.8	45.9

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

Ⅵ. 卒業後の進路について

～金沢大生が卒業後に希望する進路と、就職サポートの必要性について～

1. 学域・学類卒業後に考えられる進路

■卒業後の進路を学域・学類別でみると、人間社会学域では、「民間企業への就職」「公務員」が65%以上でほぼ同じ。
次いで、「教員」で32.1%

•性別による差違はほとんどみられない。

■理工学域では、大学院への進学意向が高い。また、「本学の大学院」のほうが「本学以外の大学院」と比べ、
進学意向は高いものの、「本学以外の大学院」を挙げる人が4割強みられた。

■医薬保健学域は、「医薬保健分野の専門職」がおよそ90%。

■人間社会学域では、「アルバイト、契約社員等」が1割程度みられ、将来不安を感じている人が目立つ。

Q18.学域・学類を卒業後に考えられる進路

(%)

		N	民間企業への就職（正規・新卒採用）	公務員（正規・新卒採用）	教員	医薬保健分野の専門職	非営利団体への就職	アルバイト、契約社員等（非正規）	家業・自営	在学中からの仕事を継続	起業	本学の大学院	本学以外の大学院	無回答
	【全体】	549	42.1	35.3	16.0	46.3	2.6	3.8	3.1	0.2	2.7	30.1	20.9	2.4
入学年度別	平成21年度	303	35.3	35.6	18.2	44.2	4.0	3.6	3.0	0.3	3.3	26.4	18.2	3.3
	平成20年度以前計	241	51.0	35.3	13.3	48.5	0.8	4.1	3.3	0.0	2.1	34.9	24.9	0.4
所属学域別	人間社会学域	159	67.9	66.7	32.1	0.6	5.0	10.1	4.4	0.6	3.1	14.5	13.8	1.3
	理工学域	112	66.1	37.5	23.2	3.6	0.0	1.8	4.5	0.0	5.4	57.1	44.6	0.9
	医薬保健学域	277	17.7	16.6	4.0	89.5	2.2	1.1	1.8	0.0	1.4	28.2	15.5	3.6
	医学類	101	2.0	1.0	1.0	87.1	2.0	1.0	3.0	0.0	2.0	8.9	8.9	8.9
	薬学類・創薬科学類	53	52.8	47.2	3.8	84.9	1.9	0.0	1.9	0.0	1.9	50.9	26.4	1.9
	保健学類	123	15.4	16.3	6.5	93.5	2.4	1.6	0.8	0.0	0.8	34.1	16.3	0.0
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	59	67.8	67.8	33.9	1.7	3.4	11.9	6.8	0.0	6.8	18.6	18.6	1.7
	人間社会学域×女性	100	68.0	66.0	31.0	0.0	6.0	9.0	3.0	1.0	1.0	12.0	11.0	1.0
	理工学域×男性	90	66.7	35.6	24.4	2.2	0.0	2.2	4.4	0.0	6.7	57.8	45.6	1.1
	理工学域×女性	22	63.6	45.5	18.2	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	54.5	40.9	0.0
	医薬保健学域×男性	111	10.8	7.2	1.8	82.0	0.9	0.9	1.8	0.0	1.8	20.7	11.7	9.0
	医薬保健学域×女性	166	22.3	22.9	5.4	94.6	3.0	1.2	1.8	0.0	1.2	33.1	18.1	0.0
	医学類×男性	76	2.6	0.0	1.3	82.9	1.3	1.3	2.6	0.0	1.3	10.5	7.9	11.8
	医学類×女性	25	0.0	4.0	0.0	100.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	12.0	0.0
	薬学類・創薬科学類×男性	21	42.9	38.1	4.8	76.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	33.3	9.5	4.8
	薬学類・創薬科学類×女性	32	59.4	53.1	3.1	90.6	3.1	0.0	3.1	0.0	0.0	62.5	37.5	0.0
	保健学類×男性	14	7.1	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	35.7	0.0
	保健学類×女性	109	16.5	18.3	7.3	94.5	2.8	1.8	0.9	0.0	0.9	31.2	13.8	0.0

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

2. 本学の就職支援や情報提供に対する期待度

■本学の就職支援や情報提供に関する期待度は、「公務員」が高い。

＜期待している計＞

Q20.本学の就職支援や情報提供に対して期待する程度（Q18各ONベース）

		民間企業への就職（正規・新卒採用）		公務員（正規・新卒採用）		教員		医薬保健分野の専門職	
		卒業後考える（N）	期待度（%）	卒業後考える（N）	期待度（%）	卒業後考える（N）	期待度（%）	卒業後考える（N）	期待度（%）
	【全体】	231	61.5	194	70.1	88	52.3	254	68.1
所属学域別	人間社会学域	108	63.9	106	78.3	51	68.6	1	100.0
	理工学域	74	62.2	42	69.0	26	34.6	4	0.0
	医薬保健学域	49	55.1	46	52.2	11	18.2	248	69.0
	医学類	2	50.0	1	100.0	1	0.0	88	67.0
	薬学類・創薬科学類	28	60.7	25	52.0	2	50.0	45	57.8
	保健学類	19	47.4	20	50.0	8	12.5	115	74.8
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	40	50.0	40	70.0	20	75.0	1	100.0
	人間社会学域×女性	68	72.1	66	83.3	31	64.5	0	0.0
	理工学域×男性	60	63.3	32	62.5	22	27.3	2	0.0
	理工学域×女性	14	57.1	10	90.0	4	75.0	2	0.0
	医薬保健学域×男性	12	50.0	8	62.5	2	0.0	91	61.5
	医薬保健学域×女性	37	56.8	38	50.0	9	22.2	157	73.2
	医学類×男性	2	50.0	0	0.0	1	0.0	63	63.5
	医学類×女性	0	0.0	1	100.0	0	0.0	25	76.0
	薬学類・創薬科学類×男性	9	55.6	8	62.5	1	0.0	16	56.3
	薬学類・創薬科学類×女性	19	63.2	17	47.1	1	100.0	29	58.6
	保健学類×男性	1	0.0	0	0.0	0	0.0	12	58.3
	保健学類×女性	18	50.0	20	50.0	8	12.5	103	76.7
所属学域別×入学年度別	人間社会学域×平成21年度	60	60.0	68	79.4	39	74.4	1	100.0
	人間社会学域×平成20年度以前計	48	68.8	38	76.3	12	50.0	0	0.0
	理工学域×平成21年度	33	57.6	22	72.7	12	41.7	0	0.0
	理工学域×平成20年度以前計	41	65.9	20	65.0	14	28.6	4	0.0
	医薬保健学域×平成21年度	14	64.3	18	55.6	4	0.0	133	69.9
	医薬保健学域×平成20年度以前計	34	50.0	27	48.1	6	16.7	113	68.1
	医学類×平成21年度	2	50.0	1	100.0	1	0.0	80	66.3
	医学類×平成20年度以前計	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	75.0
	薬学類・創薬科学類×平成21年度	8	75.0	9	44.4	0	0.0	15	53.3
	薬学類・創薬科学類×平成20年度以前計	19	52.6	15	53.3	1	0.0	28	60.7
	保健学類×平成21年度	4	50.0	8	62.5	3	0.0	38	84.2
	保健学類×平成20年度以前計	15	46.7	12	41.7	5	20.0	77	70.1

3. 納得のいく就職活動のために必要な本学からの支援について

■納得のいく就職活動のために必要な本学からの支援は、人間社会学域・理工学域ともに「資格取得支援」がトップ。
次いで、「インターンシップ」。

・人間社会学域のほうが、求める支援は多岐に渡っている。特に、女性層でスコアが全般的に高い。

Q21.納得のいく就職活動をできるようにするために、本学からの支援や提供に関して必要であると思うもの

(%)

		N	インターンシップ	資格取得支援	本学の就職指導担当教員による指導	ゼミ・研究室の教員による指導	就職支援室の職員による指導	就職支援室等にある資料（求人票・会社案内等）の利用	本学のホームページ	その他	無回答
	【全体】	502	49.8	57.6	43.0	39.4	37.8	42.8	14.3	1.4	7.4
所属学域別	人間社会学域	151	66.2	73.5	58.9	50.3	54.3	54.3	17.2	1.3	2.6
	理工学域	92	56.5	63.0	45.7	35.9	46.7	40.2	16.3	1.1	2.2
	医薬保健学域	258	38.0	46.5	32.9	34.5	25.2	37.2	12.0	1.6	11.6
	医学類	91	33.0	20.9	14.3	20.9	7.7	9.9	9.9	3.3	25.3
	薬学類・創薬科学類	47	51.1	55.3	46.8	46.8	40.4	63.8	19.1	0.0	4.3
	保健学類	120	36.7	62.5	41.7	40.0	32.5	47.5	10.8	0.8	4.2
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	57	57.9	63.2	54.4	50.9	47.4	56.1	17.5	0.0	3.5
	人間社会学域×女性	94	71.3	79.8	61.7	50.0	58.5	53.2	17.0	2.1	2.1
	理工学域×男性	74	58.1	58.1	40.5	36.5	48.6	39.2	17.6	1.4	2.7
	理工学域×女性	18	50.0	83.3	66.7	33.3	38.9	44.4	11.1	0.0	0.0
	医薬保健学域×男性	96	36.5	28.1	21.9	25.0	16.7	19.8	12.5	3.1	20.8
	医薬保健学域×女性	162	38.9	57.4	39.5	40.1	30.2	47.5	11.7	0.6	6.2
	医学類×男性	66	33.3	15.2	13.6	18.2	6.1	7.6	10.6	4.5	28.8
	医学類×女性	25	32.0	36.0	16.0	28.0	12.0	16.0	8.0	0.0	16.0
	薬学類・創薬科学類×男性	18	50.0	55.6	44.4	44.4	55.6	61.1	16.7	0.0	0.0
	薬学類・創薬科学類×女性	29	51.7	55.2	48.3	48.3	31.0	65.5	20.7	0.0	6.9
	保健学類×男性	12	33.3	58.3	33.3	33.3	16.7	25.0	16.7	0.0	8.3
	保健学類×女性	108	37.0	63.0	42.6	40.7	34.3	50.0	10.2	0.9	3.7
所属学域別×入学年度別	人間社会学域×平成21年度	94	69.1	73.4	60.6	47.9	55.3	55.3	18.1	2.1	3.2
	人間社会学域×平成20年度以前計	57	61.4	73.7	56.1	54.4	52.6	52.6	15.8	0.0	1.8
	理工学域×平成21年度	43	46.5	74.4	44.2	25.6	48.8	37.2	11.6	2.3	0.0
	理工学域×平成20年度以前計	49	65.3	53.1	46.9	44.9	44.9	42.9	20.4	0.0	4.1
	医薬保健学域×平成21年度	136	38.2	38.2	27.2	27.9	16.9	27.9	11.0	1.5	15.4
	医薬保健学域×平成20年度以前計	120	36.7	55.8	40.0	41.7	35.0	48.3	12.5	1.7	7.5
	医学類×平成21年度	83	36.1	20.5	14.5	21.7	8.4	10.8	10.8	2.4	24.1
	医学類×平成20年度以前計	8	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5
	薬学類・創薬科学類×平成21年度	15	40.0	60.0	53.3	46.7	46.7	73.3	13.3	0.0	0.0
	薬学類・創薬科学類×平成20年度以前計	30	53.3	53.3	46.7	46.7	40.0	63.3	20.0	0.0	6.7
	保健学類×平成21年度	38	42.1	68.4	44.7	34.2	23.7	47.4	10.5	0.0	2.6
	保健学類×平成20年度以前計	82	34.1	59.8	40.2	42.7	36.6	47.6	11.0	1.2	4.9

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

3. 納得のいく就職活動のために必要な本学からの支援について

■ 卒業後の進路希望別でみると、民間企業への就職・公務員・教員ともに、「資格取得支援」を求める意見が多数。
次いで、「インターンシップ」。

■ 教員を希望する人は、「ゼミ・研究室の教員による指導」を求める意見が目立つ。

Q21.納得のいく就職活動をできるようにするために、本学からの支援や提供に関して必要であると思うもの

(%)

		N	インターンシップ	資格取得支援	本学の就職指導担当教員による指導	ゼミ・研究室の教員による指導	就職支援室の職員による指導	就職支援室等にある資料（求人票・会社案内等）の利用	本学のホームページ	その他	無回答
	【全体】	502	49.8	57.6	43.0	39.4	37.8	42.8	14.3	1.4	7.4
卒業後の進路別	民間企業への就職	231	64.9	69.3	54.5	48.1	51.9	56.7	17.7	0.4	2.2
	公務員	194	60.8	74.7	55.2	45.9	51.5	52.1	17.0	1.0	2.6
	教員	88	56.8	65.9	52.3	51.1	48.9	36.4	19.3	1.1	3.4
	医薬保健分野の専門職	254	38.2	46.9	34.3	35.4	25.6	38.6	12.6	1.6	12.2

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

Ⅶ. 海外留学・渡航について

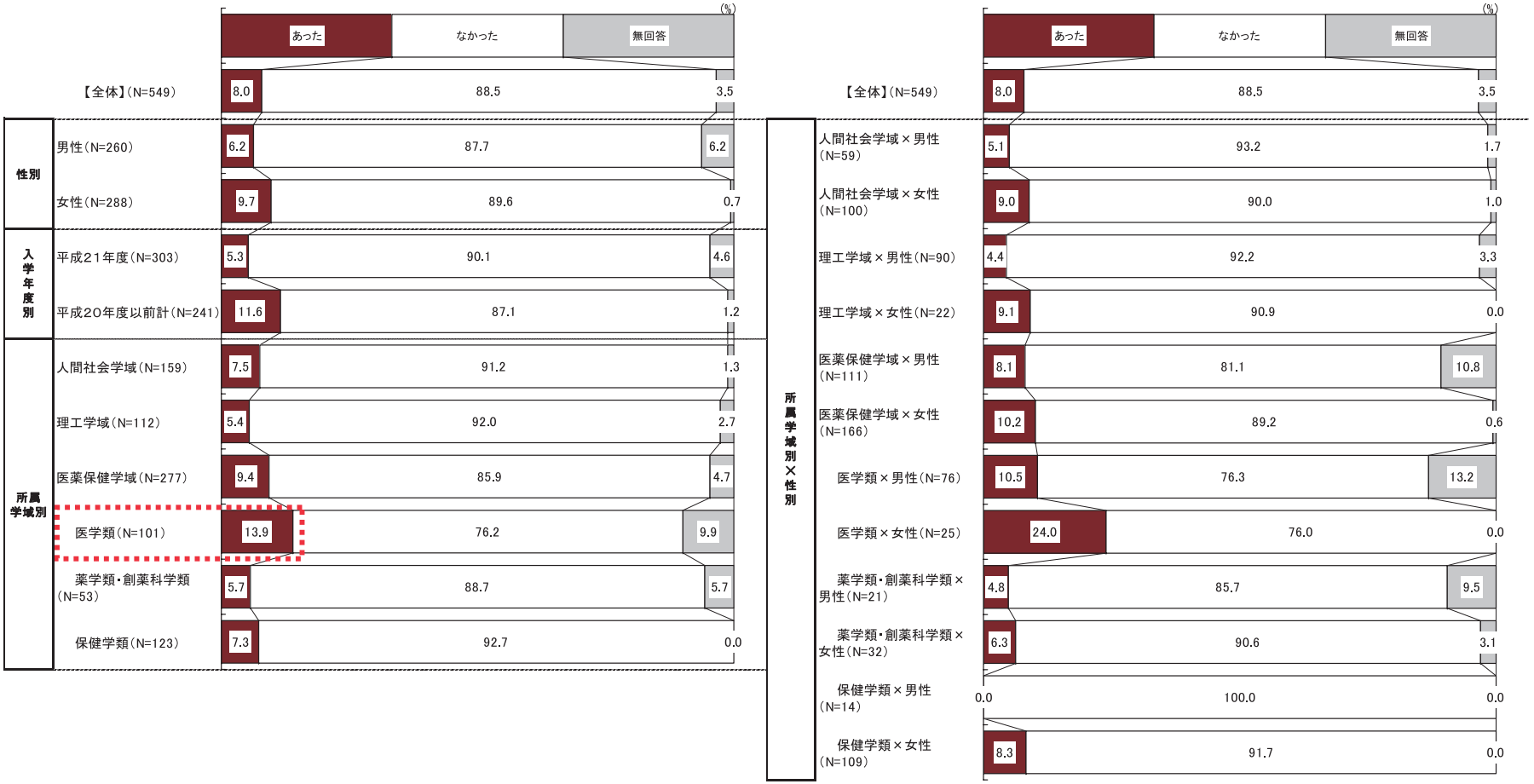
～金沢大生の留学意向はどの程度なのか。
どのようなサポートを必要としているのか～

1. 本学入学後の海外旅行・渡航経験の有無

■本学入学後の海外旅行・渡航経験があるのは8.0%。医学類が13.9%でやや高め。

・入学年度別でみると、学年が高いほうが海外旅行・渡航経験が上昇。

Q31.本学入学後の海外旅行・渡航経験の有無



2. 留学や語学研修の形態

■少数ではあるが、海外旅行・渡航経験者の目的は、「観光・レジャー等が目的の海外旅行」が圧倒的に多い。
■次いで、「語学研修」「サークル・ボランティア等での海外渡航」。

Q31.留学や語学研修の目的としたもの

（人）

		N	本学の制度を使った留学（6ヶ月以上）	一般の留学（6ヶ月以上）	本学の短期語学研修（海外の提携大学）	一般の海外語学研修	語学研修が目的に含まれた海外旅行	観光・レジャー等が目的の海外旅行	サークル・ボランティア等での海外渡航	家族都合等での海外渡航	その他	無回答
	【全体】	44	2	1	6	2	6	24	6	4	1	2
性別	男性	16	2	1	2	2	1	6	2	3	−	1
	女性	28	−	−	4	−	5	18	4	1	1	1
入学年度別	平成21年度	16	1	1	3	2	1	5	4	2	1	1
	平成20年度以前計	28	1	−	3	−	5	19	2	2	−	1
所属学域別	人間社会学域	12	−	−	4	1	3	4	1	−	1	−
	理工学域	6	−	−	−	−	1	3	−	1	−	1
	医薬保健学域	26	2	1	2	1	2	17	5	3	−	1
	医学類	14	1	1	2	1	−	7	3	3	−	1
	薬学類・創薬科学類	3	1	−	−	−	−	2	−	−	−	−
	保健学類	9	−	−	−	−	2	8	2	−	−	−
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	3	−	−	1	1	1	−	−	−	−	−
	人間社会学域×女性	9	−	−	3	−	2	4	1	−	1	−
	理工学域×男性	4	−	−	−	−	−	2	−	1	−	1
	理工学域×女性	2	−	−	−	−	1	1	−	−	−	−
	医薬保健学域×男性	9	2	1	1	1	−	4	2	2	−	−
	医薬保健学域×女性	17	−	−	1	−	2	13	3	1	−	1
	医学類×男性	8	1	1	1	1	−	4	2	2	−	−
	医学類×女性	6	−	−	1	−	−	3	1	1	−	1
	薬学類・創薬科学類×男性	1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	薬学類・創薬科学類×女性	2	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−
	保健学類×男性	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	保健学類×女性	9	−	−	−	−	2	8	2	−	−	−

3. 今後、本学在学中に海外旅行・渡航内容として検討してもよいもの

■「本学の制度を使った留学」を検討している人は17.5%。「本学の短期語学研修」を検討している人は18.9%。

- 学域別でみると、いずれも“人間社会学域”でスコアが高くなっている。
- 性別でみると、「本学の制度を使った留学」は男性、「本学の短期語学研修」は女性のほうが意向は高め。

Q32.今後、本学在学中に、海外旅行・渡航の内容として検討してもよいもの

(%)

		N	本学の制度を使った留学（6ヶ月以上）	一般の留学（6ヶ月以上）	本学の短期語学研修（海外の提携大学）	一般の海外語学研修	語学研修が目的に含まれた海外旅行	観光・レジャー等が目的の海外旅行	サークル・ボランティア等での海外渡航	家族都合等での海外渡航	その他	無回答
	【全体】	549	17.5	7.8	18.9	7.3	20.9	55.7	23.9	19.9	0.7	22.4
性別	男性	260	20.0	11.5	16.5	8.1	14.2	45.8	17.3	13.8	1.2	29.2
	女性	288	15.3	4.5	21.2	6.6	27.1	64.9	29.9	25.3	0.3	16.0
入学年度別	平成21年度	303	23.1	10.9	23.8	9.6	24.1	51.8	23.8	22.1	1.3	21.8
	平成20年度以前計	241	10.8	4.1	13.3	4.1	17.4	61.0	24.5	17.0	0.0	22.4
所属学域別	人間社会学域	159	27.0	9.4	31.4	10.1	27.7	56.6	28.9	26.4	0.0	16.4
	理工学域	112	13.4	11.6	18.8	8.9	19.6	56.3	22.3	17.9	0.9	21.4
	医薬保健学域	277	13.7	5.4	11.9	5.1	17.7	55.2	21.7	17.0	1.1	26.0
	医学類	101	20.8	11.9	13.9	8.9	18.8	44.6	15.8	16.8	3.0	30.7
	薬学類・創薬科学類	53	11.3	0.0	9.4	5.7	18.9	62.3	11.3	13.2	0.0	22.6
	保健学類	123	8.9	2.4	11.4	1.6	16.3	61.0	30.9	18.7	0.0	23.6
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	59	30.5	13.6	28.8	11.9	15.3	45.8	18.6	16.9	0.0	25.4
	人間社会学域×女性	100	25.0	7.0	33.0	9.0	35.0	63.0	35.0	32.0	0.0	11.0
	理工学域×男性	90	14.4	14.4	16.7	6.7	16.7	55.6	24.4	15.6	1.1	23.3
	理工学域×女性	22	9.1	0.0	27.3	18.2	31.8	59.1	13.6	27.3	0.0	13.6
	医薬保健学域×男性	111	18.9	8.1	9.9	7.2	11.7	37.8	10.8	10.8	1.8	36.0
	医薬保健学域×女性	166	10.2	3.6	13.3	3.6	21.7	66.9	28.9	21.1	0.6	19.3
	医学類×男性	76	19.7	11.8	13.2	7.9	15.8	38.2	10.5	13.2	2.6	35.5
	医学類×女性	25	24.0	12.0	16.0	12.0	28.0	64.0	32.0	28.0	4.0	16.0
	薬学類・創薬科学類×男性	21	23.8	0.0	4.8	4.8	0.0	42.9	9.5	9.5	0.0	33.3
	薬学類・創薬科学類×女性	32	3.1	0.0	12.5	6.3	31.3	75.0	12.5	15.6	0.0	15.6
	保健学類×男性	14	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1	28.6	14.3	0.0	0.0	42.9
	保健学類×女性	109	9.2	2.8	12.8	0.9	17.4	65.1	33.0	21.1	0.0	21.1

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

4. 留学等を検討する上で、不安に思うことや不十分だと感じていること

■留学等を検討する上で、不安に思うことや不十分だと感じていることは「費用」と「語学力」。

■次いで、「時間や期間」「希望国での生活」を不安に感じている。一方、「セキュリティ」に不安を感じている人は23.2%に留まっている。

- 学域・学類別でみると、人間社会学域では「本学での選抜」、理工学域では「希望国の言語学習」を挙げる人が多くなっている。
- 男性は、「本学での選抜」「希望国で専門の勉強ができる可能性」がやや高くなっている。

Q32.留学等を検討する上で、不安に思うことや不十分だと感じていること

(%)

		N	本学での選抜	費用	語学力	時期や期間	希望国の言語学習	希望国で専門の勉強ができる可能性	希望国での生活	セキュリティ	その他	無回答
	【全体】	177	35.6	74.6	74.0	48.6	22.0	21.5	44.6	23.2	4.0	1.1
性別	男性	86	37.2	66.3	68.6	45.3	22.1	23.3	37.2	23.3	3.5	1.2
	女性	91	34.1	82.4	79.1	51.6	22.0	19.8	51.6	23.1	4.4	1.1
入学年度別	平成21年度	121	38.0	72.7	75.2	49.6	20.7	22.3	47.1	24.0	4.1	0.8
	平成20年度以前計	55	30.9	78.2	70.9	47.3	23.6	20.0	38.2	20.0	3.6	1.8
所属学域別	人間社会学域	78	44.9	71.8	80.8	46.2	17.9	17.9	50.0	24.4	3.8	1.3
	理工学域	36	25.0	83.3	69.4	41.7	33.3	25.0	47.2	27.8	5.6	0.0
	医薬保健学域	63	30.2	73.0	68.3	55.6	20.6	23.8	36.5	19.0	3.2	1.6
	医学類	33	33.3	60.6	66.7	54.5	18.2	27.3	33.3	21.2	3.0	3.0
	薬学類・創薬科学類	11	36.4	72.7	72.7	54.5	18.2	18.2	27.3	18.2	0.0	0.0
	保健学類	19	21.1	94.7	68.4	57.9	26.3	21.1	47.4	15.8	5.3	0.0
所属学域別×性別	人間社会学域×男性	26	50.0	65.4	80.8	53.8	15.4	19.2	50.0	19.2	0.0	0.0
	人間社会学域×女性	52	42.3	75.0	80.8	42.3	19.2	17.3	50.0	26.9	5.8	1.9
	理工学域×男性	29	24.1	79.3	69.0	37.9	31.0	31.0	41.4	31.0	6.9	0.0
	理工学域×女性	7	28.6	100.0	71.4	57.1	42.9	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0
	医薬保健学域×男性	31	38.7	54.8	58.1	45.2	19.4	19.4	22.6	19.4	3.2	3.2
	医薬保健学域×女性	32	21.9	90.6	78.1	65.6	21.9	28.1	50.0	18.8	3.1	0.0
	医学類×男性	23	43.5	52.2	65.2	47.8	21.7	21.7	26.1	21.7	4.3	4.3
	医学類×女性	10	10.0	80.0	70.0	70.0	10.0	40.0	50.0	20.0	0.0	0.0
	薬学類・創薬科学類×男性	6	33.3	50.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	薬学類・創薬科学類×女性	5	40.0	100.0	100.0	80.0	40.0	40.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	保健学類×男性	2	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	保健学類×女性	17	23.5	94.1	76.5	58.8	23.5	17.6	47.1	11.8	5.9	0.0

※N=30以上　■：全体より10ポイント以上高い、■：全体より5ポイント以上高い
■：全体より10ポイント以上低い、■：全体より5ポイント以上低い

第3章. 調査結果の総括

1. 金沢大生の経済生活実態と意識について

経済生活実態・意識項目群の重要設問を概観し、関連性を含め総括しております。（詳細は各論を参照）

収入 （金額数字単位＝円 ／平均値）

●通常の1ヶ月の収入構造

	自宅外生	自宅生
仕送り・小遣い	58,700 (82%)	18,600 (60%)
日本学生支援機構	63,600 (39%)	51,700 (25%)
その他奨学金	58,100 (6%)	103,400 (5%)
アルバイト収入	37,800 (45%)	39,100 (67%)
その他収入	27,800 (1%)	20,000 (3%)

支出／消費 （金額数字単位＝円 ／平均値）

●ふつうの1ヶ月の生活費（主たる生活費分類）

該当分類の回答出現率が3分の2以上水準の項目

- 食費＝ 18,700
- その他費用※＝ 13,300
- サークル活動費＝ 9,800
- 交通費＝ 9,400
- 通信費＝ 8,500

（※；生活費・趣味・娯楽費）

◎「教育関連費用」＝9,100 円だが回答出現率は5割弱。
◎「自宅外生の住居に関する費用」＝ 42,600円。

●一過性の大きな出費

車（11%）、バイク（6%）は男性がやや多い構造であり、全体での自己負担金額は各々34万、10万円程度。

	自己負担	[総額]（←回答者出現率）
PC＝	171,000	[184,000]（←77%）
旅費＝	85,000	[67,000]（←57%）
自宅生；	92,000	[158,000]（←28%）
自宅外生；	63,000	[75,000]（←67%）
引越し＝	166,000	[233,000]（←37%）
自宅生；	80,000	[90,000]（← 4%）
自宅外生；	163,000	[236,000]（←49%）

実態

意識

自宅外で、「増やしてほしい」が12%に対し、「減らしてもらってもいい」が26%という構造。

●アルバイトを増やしたいという意識

	増やしたい	⇔ 減らしたい
自宅外生	66%	2%
自宅生	58%	4%
男性層	60%	2%
女性層	68%	1%
21年度入学	69%	0%
20年度入学	60%	4%

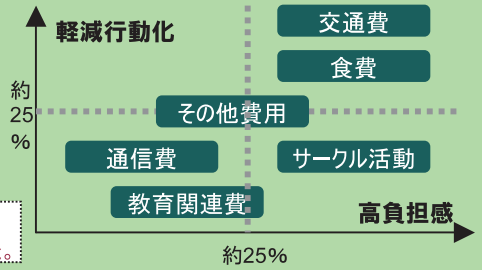
●自宅外生の保護者負担感意識

自宅外生の保護者への負担感意識を、仕送り、授業料を含めた全費用とも、すべての属性別で約5割台が感じている状況。

●高負担感使途／軽減行動

◎自宅外生での「住居費用」は3割強が高負担感、25%が 軽減行動化。
◎「交通費」は女性層で、両軸とも男性層に比べ高い構造。

●逆に「増やしたい」ものは少なく、教育関連費でも各層共1割前後。



経済不安

●今後の経済環境からの学業・生活支障・不安

◎「学業を中心とした勉強」（の継続性）に支障がでる不安を持っている層は、自宅／自宅外、男女、学年を問わず1割台前半に留まっている。
◎しかし、「サークル活動等」については、ほぼ全層で25%が支障不安を抱き、「趣味・娯楽」についても文科系（←人間社会学域）で3分の1強で不安視するなどの傾向がある。

バイト時間負荷

●アルバイトにかける時間の実態

◎「通常的にアルバイトをしている学生」が約5割。「一時的・短期的にアルバイトを実施」が12%。合わせて6割強がアルバイトを実施
◎“女性”、“平成20年度以前”、“自宅生”で通常的にアルバイト実施者が多い。
◎アルバイト日数は週に2～3日、時間は1日平均4～5時間がメインボリューム。

バイトの影響

●アルバイトにかける時間の影響・余波

◎アルバイト活動により何らかの支障が生じている対象は、「学業」が約3割で最も多い。
入学年度別では“平成20年度以前”で、支障を感じている人が約4割と高い。
◎次いで、「サークル活動」、「趣味・娯楽」で2割強。
◎アルバイトの実施頻度が高くなるにつれ、「学業」に支障をきたすという人多くなっている。

2. その他学生生活・進路等への意識について

経済生活実態・意識項目群以外に把握した重要観点について、
その結果概要（ポイント）を抄録しております。（詳細は各論を参照）

金沢大学に対する総合的な満足度

◎金沢大学への全体満足度は満足計で85%。 内、「かなり満足」が20%。
○性別でみると、“女性”のほうが満足度は高い。
◎入学決定時の気持ち別でみると、満足度の高い層のほうが、本学の全体満足度も高い傾向がみられる。

卒業後の進路（希望とサポートニーズ）

進路の想定

人間社会学域では「民間企業への就職」「公務員」が3分の2が挙げ、拮抗。「教員」も3分の1が挙げる構造。（複数回答）／ 性別差違はほとんどない。
理工学域では、大学院への進学意向が57%と高い。「本学以外の大学院」も4割強が視野に置く。
人間社会学域では、「アルバイト、契約社員等」が1割程度みられ、将来不安を感じている意識が推察される。

支援ニーズ

納得のいく就職活動のために必要な本学からの支援は、人間社会学域・理工学域ともに「資格取得支援」がトップ。次いで、「インターンシップ」。
人間社会学域のほうが、求める支援は多岐に渡っている。特に、女性層でスコアが全般的に高い。

海外留学・渡航（経験／意向／不安等）

入学後の渡航経験

◎本学入学後の海外旅行・渡航経験がある者が8%。
（調査結果からは、1年生→2年生時期での経験増分が5%→12%）
→「観光・レジャー等が目的の海外旅行」が圧倒的

留学意向

◎「本学の制度を使った留学」の検討層、「本学の短期語学研修」検討層が共に2割近く発生。何れも“人間社会学域”でスコアが高くなっている。
性別では「本学制度留学」は男性、「本学短期語学研修」は女性が高め。

不安要因

◎「費用」と「語学力」が4分の3があげる最大の不安要因。
次いで、「時期や期間」「希望国での生活」を5割近くが不安に感じている。
一方、「セキュリティ」に不安を感じている人は4分の1に留まる構造。
○学域・学類別でみると、人間社会学域では「本学での選抜」、理工学域では「希望国の言語学習」を挙げる人が多くなっている。
男性は、「本学での選抜」「希望国で専門の勉強ができる可能性」がやや高くなっている。

福利厚生施設等の利用／評価

認知

◎福利厚生施設等の利用状況では、「大学会館（食堂）」と「図書館」の利用率が高い。スポーツ施設は、全般的に“男性”の利用が多くなっている。

満足／不満の状況

◎利用満足度は、全般的に高い。特に、「図書館」利用満足度は85%と高い。
（所属学域別でみると、“医学類”“薬学類・創薬科学類”は図書館の利用満足度はやや低め。）
○性別でみると、各施設とも、概ね女性のほうが満足度は高くなっている。
●満足度があまり高くない施設として、「サークル棟」（51%）、「医学類福利施設（食堂）」（49%）が挙げられる。
・「サークル棟」を利用できないことが、満足度の低さに繋がっている可能性が考えられる。

施設・制度等の認知／興味・関心／利用（意向・状況）

認知

◎「保健管理センター」が6割強。「なんでも相談室『よるまっし』」が約5割。
○人間社会学域での「副専攻制度」「転学域・転学類・転コース制度」が約5割。
→「なんでも相談室『よるまっし』」「保健管理センター」「就職支援室」「角間ランチョンセミナー」も他学域・学類と比べ認知のスコアは高い。
○「アドバイス教員制度」は、理工学域と薬学類・創薬科学類で高い傾向。

利用状況

利用／参加経験があるものは「保健管理センター」が最も多く全体で4割強。
次いで、「なんでも相談室『よるまっし』」が2割、「アドバイス教員制度」「角間ランチョンセミナー」（それぞれ15%）が続く。
性別でみると、女性のほうが利用／参加経験のあるものが多くなっている傾向。
所属学域別では、人間社会学域で「保健管理センター」「角間ランチョンセミナー」の利用経験が多くなっている。
入学年度別でみると、「保健管理センター」は、利用経験で差がみられるが、他の施設・制度はほとんど差異がみられない。

興味・関心

「副専攻制度」「転学域・転学類・転コース」、施設としては、「就職支援室」が上位にあり、「副専攻制度」は“人間社会学域”、「就職支援室」は“理工学域”で相対的に高い傾向。「就職支援室」は、平成20年度以前の者が、平成21年度に比べ、高い。

今後の利用意向

「アドバイス教員制度」が最も多く挙げられた。加えて「就職支援室」「学類相談室」を挙げる人が多くなっている。「就職支援室」は、特に“人間社会学域”で、利用／参加意向が高くなっている。

2009年度学生生活調査結果報告書の自由記述に関する回答

検討区分	今後、本学で勉強や生活していく上で、本学に期待することや要望等	意見に対する回答
課外活動	大学は、部活動による欠席をした生徒に対し、何らかの対応をするという制度を,作るべきである。 インフルエンザや事故・ケガの時は措置がされるのに、部活動は無断欠席と同じ扱いというのはおかしい。部活動を行う生徒に不利になる制度を作っておきながら、大学の紹介ビデオ等に部活動の様子をのせるのは調子が良すぎではないか？	大学のサークル活動は，学生の自主的活動であることから，その活動については自己管理が基本です。ですが，サークル活動は正課外の活動ではありますが，学生生活の一部として，大学ではその支援を行っています。授業への欠席等については，その主旨から特段の対応はありません。事故・怪我と同様に授業担当教員の判断に委ねられております。また，限られた予算の範囲での対応ですので部費の支給はできません。
	部活動に部費を支給してほしい。全国大会に行くのに自費で行くのはつらい。	
	サークルの飲み会の管理。	サークルのリーダ研修において，未成年者の飲酒や飲酒の強要の禁止について強く指導しています。
	サークル棟は建物自体が古く全体的に汚い。サークル活動をする上で、利用しにくい。	大学として課外活動施設の改修や新設を検討していますが，限られた予算の範囲での対応ですので，新設は大変厳しい状況です。既存の施設の利用については，利用者の整理整頓・清掃にご協力いただき。施設環境の保全にご理解とご協力をお願いいたします。
	サークル棟の増設。	
	第2サークル棟を早く建ててほしい。	
	ソフトボール場の草を刈ってくれ。 なぜ、照明塔がないのか？	
	大学構内でのマナーの改善。騒音防止	
	野球場の建設。	
	学生支援GPの催し物は興味深いものが多いので、もっと充実、参加しやすくなるよう力を入れてほしい。	学生支援GPとしての活動は平成２３年度限りで終了となりますが，当該催し物は継続していきたいと思います。その際はご参加下さい。また，新たな企画等がありましたら，学内設置の意見箱等で申し出下さい。
	学生どおしの交流がもっと広がるよう、学生発表の場を様々に設ける手助けをしてほしい。勉強だけでない、学生の自発的活動がたくさんある大学になってほしい。	大学会館の大集会室において，昼食時の開放を行っています。どのような発表の場が必要なのか，具体的な企画等がありましたら，一度，学生部学生支援室にご相談ください。
	金大祭で有名な歌手や芸人をよばないと、そこで試合終了ですよ。	金大祭は学生の代表で構成される実行委員会を中心として企画・運営を行っております。多くの学生の皆さんの参画により，ぜひ取り組んでください。
	学園祭の主催をかえてほしい。そして有名人呼んでください。	
	自分は自宅生なので、例えば1～3限があって、5限もある場合4限の時間に少し休みたくても、そっくりと休めるスペースがありません。 勉学のスペースに関しては十分満足しているので、仮眠室等も受けて頂けると大いに助かります。	各建物に「学生のコミュニケーションが生まれ，育つ」ところとして「コミュニケーション・プレイス」を増やしています。ご利用下さい。
	地域に対するボランティア、企業との連携の強化。	社会貢献や企業との連携については，大学全体や部局単位でも様々な形で実施しています。また，田上校下で「大学門前町協議会」が設置されましたので，各種催し物の開催や企画等に積極的にご参加下さい。詳しくは田上公民館にお問い合わせ下さい。
通学等	駐車場の許可証をもっと多くの人に申請するといいと思う。	車通学は交通事故の大きな危険を伴うもので，その発生による心的負担や経済的負担によって，学業を継続できない場合もあります。そのことから，本学では，公共交通機関を利用することをお願いしています。 ただ，本学の立地状況から，バスでの通学が困難な学生や，教育・研究の関係で，車通学を希望する学生に駐車場の利用を許可しています。駐車場の増設は多額の費用が必要であり，早急な対応はできない状況です。 以上のことから，駐車許可については，全学のルールに従って審査しています。申請から許可証書の発行へと手続きを行うことから，発行まで一定期間を必要としています。
	車通学の許可!	
	駐車場の拡張。	
	1年生でも駐車許可証を発行してほしい。	
	医学類の駐車場を無料にしてほしい。	
	医学類の学生も駐車場が利用できるようにしてほしい。	
	駐車場の許可を出してほしい。	
	土地が余っているのに全く使われていない部分が多いのが勿体ないので、駐車場を増やして、駐車許可証を出せる範囲を増やしてほしいです。バスの沿線だからと許可が出ない範囲に含まれていますが、便数も少ないし、バス代も高いので、正直バスでの通学はかなり不便です。	
	実家から通う人の駐車許可証をもっと早く出してほしい。	
	自転車おきばの設置。	一部自転車置き場の設置を行いました。指定の場所での駐輪をお願いいたします。
	学校までの道を舗装してほしい。(道が悪い部分)	通学路の段差等については，管理者である石川県に対して写真の提供を行い改善要求を行っております。結果，徐々に改善されており，引き続き改善をお願いしていきます。
	通学する際に通る歩道の舗装	
	通学しやすいように道の整備をお願いします。	
	坂を減らして欲しいです。	
	通学が困難。バスは利用者が多くて、乗れないし、自転車は坂がボコボコしていて危ない。何とかしてほしいです。	
	土地がきつい。山の上は鬼畜。ちゃりんこでいけない。	
	角間坂の凹凸を無くして欲しい。	
	通学がもっと楽になるようにしてほしい。 バスに乗れず(乗車拒否で)1限に間に合わないことが何度かある。	バスの運行については，バス会社にいろいろ改善をお願いしております。朝の時間帯では時刻表に明記されていない臨時のバスの運行も行ってもらっておりますが，まだまだ不十分であることっは認識しております。今後もバス会社との協議を継続したいと思います。
	人が溢れ返る大学は、息苦しく、朝のバスの混雑なども緩和の試みをしてほしい。	
	角間行きのバスの混雑を何とかしてほしい。	
	金沢大学行きのバスが通っていない所を減らしてほしい。	
	バスの本数を増やしてほしい。	
	金沢大学行きのバスの本数を増やすこと。	
	金沢駅～角間、鶴間へのバス料金を100円にして下さい。	
	学校の場所なんとかなりませんか？	
	シャトルバスを、授業の合間の休み時間に運行してほしい！！ 3限目角間→4限目鶴間というふうに授業をとりたいが、とれない。(涙)	現在のシャトルバスの運行計画が平成２２年度限りではありますが，新たな企画として運行を検討しております。
	土地が広すぎて、建物間での移動が大変なので、便利になるといいと思います。	
	キャンパス間の移動(バス)をもっと便利にしてほしい。	
学寮	寮の建て替えをしてほしい。	寮生との懇談会等に場で話し合って行きたいと思います。
	寮への定期バスを設置してほしい。	
経済的	授業料と教科書代をもう少し安くしてほしい。	本学では，アカンサス・スカラシップを改正し，学業優秀者の支

	学費が高い。授業料免除の人数を増やす。	援として対象人数を各学類各学年４名（各５万円）とし人数を増やしました。また，平成２２年度は授業料免除者の人数を増やし，基準に達した学生全員を半額免除としました。しかし，学生の本分は学業であり，成績基準の見直しは考えていません。学生支援機構の奨学金支給枠の拡大が予定されていますので出願する等，極力学業に専念いただきたいと思います。
	授業料のためにアルバイトをしているのが、それが学業に支障をきたしている。なので、授業料免除の申請をしても、成績の面で不安がある。せめて基準を下げてほしい。	
	お金のサポート	
	アカンセス・スカラシップ制度をもう少し広範囲にしてほしい。	
	各学類優秀者への通学バスフリーチケット。	
施設関係	全施設常に清潔にして欲しい。	施設の利用については，利用者の整理整頓・清掃にご協力いただき。施設環境の保全にご理解とご協力をお願いいたします。 年２回，教職員による構内の草刈や清掃を実施しています。学生皆様の参加をお願いします。
	理系と文系で、キャンパスの景観に差がありすぎる。	
	自然の侵食をどうにかしてほしいです。	
	施設の充実	
	地下通路をもっと広げてほしい。冬にすごく遠まわりをしなくちゃいけな	
	白のタイルは太陽光が反射してまぶしいので、それ以外の色のタイルにしてほしいです。(階段や大学会館・図書館の周辺部など)	
	財の管理を丁寧にしてほしい。	
	ATMが地方銀行のものしかなくて不便。	ＡＴＭ設置は金融機関に依頼して設置してもらっています。また，同一構内（角間地区）で手数料無料のATMを2ヵ所設置することは，管理や経費等の面から難しいです。自然研ATMは手数料で運営しており，無料化にすると設置自体が難しい。
	自然研のATMを増やしてほしい。手数料がかかるので、種類をもっと…。 中央に行くには遠いですし(>_<)	
生協	宝町の生協を何とかしてほしい。	食堂の改修には，多額の費用がかかるため早急に対応することは，大変難しい状況です。昼食時のサービス向上策として，各種弁当販売や，移動車によるサンドイッチ販売などの多彩な試みを実施する予定です。是非ご利用いただき意見をお願いします。
	食堂(角間)がせまいし、混雑するし、すごく使いづらい。自然研のほうの食堂と差がありすぎるので、もっ角間の食堂を使いやすくしてほしい。	
	食堂をもっと広くしてほしい(並びすぎ)	
	中福利のイメージアップを要望したいと思います。	
	大学会館(席数500)と医学部の食堂(汚い)をなんとかして下さい。 1年生が1500人以上、明らかに足りません。	
	食堂の営業時間をもっと伸ばしてほしい。	申し訳ありません。利用者が少ない状況ですので，営業時間の延長は大変難しい状況です。
	保健学類の食堂のメニューを増やしてほしい。	この間、メニュー増加のご意見もありメニュー数としては利用数に比較して多いメニューを出してきました（大学会館食堂の約７～８割の数になります）。ただ、引き続きメニュー増の意見をいただきましたがので、今後はメニューの数だけでなくメニュー構成・比率なども含めたメニュー改善を検討していきます。
	医学部生協の改修を要望します。	平成２２年に売店の改修を実施しました。ご利用下さい。
	アルバイトの支援	大学会館において，アルバイトの斡旋を行っています。ご相談下
	低コストでの海外旅行(異文化交流)	海外旅行は安全・安心が重要です。大学で実施している異文化交流事業も参考にして下さい。
SD	学務係や総務課などの態度が悪くて、不快な思いをしてるので、改善してほしい。	大変申し訳ありません。誠意ある対応をするように心がけていますが，不十分なところがないか再確認します。 このような意見があるということを真摯に受け止め，職員の研修を実施し，以降気をつけます。
	総合教育棟の事務の人、愛想ない人が多いです。もっと学生にやさしくしてほしいです。	
	学務系の対応が淡泊なので、もう少し誠意を見せた方がいいと思う。	
	学務の対応があまり親切でないので、もっとよくしてほしいです。	
学業	英語の成績が不可であった時の対応がどうにかならないかと思います。	英語Ⅰが不可となった学生には英語Ⅰの「一般」のクラスを用意しています。要望の件は、英語Ⅰ(一般)の開講数が少ないという意見と思いますが、不合格の学生の数はあらかじめ分かりませんので、ほぼ前年度の数を参考に開講計画を立てています。学類の授業によっては、都合よく履修できる時間帯に開講されていないことがあるかも知れませんが、すべての要望に応えられないことをご理解ください。
	ロシア語C開講して下さい。	ロシア語Cは専任の担当者が退職されたこと、履修者が少ないクラスの場合非常勤講師による開講も制限されていることなどから、現在は開講取りやめになっています。多くの学生から発展的なロシア語クラスの開講を求める声がもっと強くなれば、開講を検討したいと思います。
	興味深い授業が、火曜～木曜の昼ごろに集中しがちなのが気になる。 金沢大学の単位に関するルールが大学に入りたての学生には難しいと思うので、ルールを簡単にするか、上回の学生を使って説明する機関を設けるとよいと思う。	他学類との関係で大講義室の空き状況で時間割が決定する場合があるので、集中することがあります。 単位に関する件については、大学・社会生活論の授業で細かく担当教員からも説明していますし，不明なことがあればアドバイス教員や学務係に問合せしてください。 共通教育機構では「なんでも相談室」において学類の先輩や大学院生が履修相談を行っていますので、利用してください。
	スペイン語の授業をとっていますが、スペインに提携大学がないので本学の短期語学研修で行くことができず大変残念です。 単位のこと等を考えると一般のものよりも本学の研修で行きたいです。 是非スペイン国内に提携大学をつくり、語学研修を可能にしてください。	平成２２年度にバルセロナと協定を結びました。今後，派遣留学が可能となります。
	授業の難しさとコマ配分を考えてほしい(理工学域)	平成２４年度からカリキュラムを一部見直すことが予定されています。
	1つの教室に机とイスが多すぎて、狭いので、少なくして欲しい。	申し訳ありません。講義室の数に限りがあり，他学類と共有で講義室を使用する兼ね合いから，収容に余裕のある講義室の確保が難しい場合があります。具体的には，理工学域の定員は薬学類・創薬科学類の定員より多いのですが，そのため狭い講義室には理工学域のクラスは収容しきれないことが多々あります。対して，ギリギリでも薬学類・創薬科学類のクラスが入る場合は，大きい講義室を理工学域に譲り，小さいほうの講義室を使用しています。不便を感じることがあるかもしれませんが，そのような事情もあるので，よろしくお願いします。
ICT	学類別の話(成績交付等)があるときなどはアカンサスポータルやメール機能を活用して詳しい時間や場所が分かるようにしてほしい。	極力，アカンサスポータルでお知らせしますが，全ての通知を行うことは不可能です。入学時より説明していますが，原則は、掲示で確認するようお願いいたします。 休学中の場合でも，アカンサスポータルで取得できる情報は同様のものです。
	休学中に学内掲示板に掲示される情報をなるべくアカンサスポータルにアップしてほしい。	

	いろいろな企画やイベントなどがあって、知らないままのことがよくあるので、もっと宣伝に力を入れてほしいです。 留学生との交流に期待します。	学生支援に関するHPを充実し，分散している支援を一本化する予定である。
	・シラバスの公開を始めてほしい。 ・ポータル上で成績開示を休暇中に行ってほしい。	Ｗｅｂ版シラバスは3月には来年度のシラバスが公開されています。 成績交付は，基本的に学期開始後に交付日を設けるなどして対応しています。この際に所属学類等より，大切な連絡事項があったり，その他の資料を配付したりもしますので，出席してお話を聞いてください。
	ウェブシラバスに、教室が何処か明記して下さい。あれ書いてないと意味ないと思うのですが…(取りたくても教室がわからんです)	各学域又は各学類では，公表している時間割で講義室を示しています。Webシラバスにも講義室情報を登録できることになっていますが，受講者決定が講義開始後ということもあり，受講者数の増減に伴う講義室変更が多く，全体情報として時間割の掲示変更での対応が主となっていますので，双方の確認をお願いします。
	webシラバスに対しての要望ですが、web上のシラバスにも講義を行う教室を明記していただきたいです。専門分野は冊子に載らないので、特に自分の取っていないコースや学類の違う講義を取る際、とても苦労します。	
	連絡事項をわかりやすく、伝えてほしい。 アカンサスポータルをもっと活用して、掲示をわざわざ見に行かなくてもいいように。	基本的に学内掲示板に掲示する内容は，学生全体など対象とする大事な件が多く，アカンサスポータルにも掲載情報をお知らせしていますが，情報量の多いものには，詳しい内容に関しては，掲示板を確認いただくものもありますので，前述のとおり，足を運んでいただくことを前提としています。 現在，アカンサスポータルは機能充実に伴い，アカンサスポータルによる情報配信も徐々に増加しています。 掲示板の掲示内容をカテゴリー別に分ける等，各学類で工夫しています。今後はアカンサスポータルとの連携を強くし，利便性を図っていく予定です。掲示時期及び期間については，十分な余裕を見て掲示を行っています。
	学内の掲示板を見やすくしてほしい。	
	成績通知の日時など、早くにわかっている重要な連絡はアカンサスポータルを使って早期に連絡してほしいと思います。	
	ポータルをもっと使いやすくしてほしい。	
	アカンサスポータルなどによる情報配信。	
	ほぼすべての情報が知れるように、アカンサスポータルを充実させてほ	
	情報の提供	
	掲示板にはるだけでなく、アカンサスポータルに全部載せて欲しい。	
	もう少し成績開示を早くして下さい。学校が始まる1週間前くらいがいいです。それか夏休みにはいってすぐくらいにしてほしいです。	現在の成績交付時期は，基本的に学期開始後に交付日を設けるなどして対応しています。成績の処理や準備を考慮すると，この日程となるのがやむを得ません。
	薬学掲示板にいくときにアカンサスポータル経由でいくときに、2度もパスワードを入力することになるので、改善してほしいです。	現在，アカンサスポータルに一本化していますので，今後はこちらの活用をお願いします。
	携帯電話の掲示板をアカンサスポータルに入らずに見れるようにしてほしいです。パスワードとか入れるのがめんどくさくて見たくなくなる。お気に入りに入れてすぐ見れるようにしてほしいです。	セキュリティ上必要なことですので，今後も現行の仕様で運用していただくことになります。
入試	他大学への大学院への進学についての情報がもう少し欲しいです。	学生課に他大学の募集要項を整理して配置し，閲覧に供しています。
図書館	図書館の営業時間を一律AM8:00～PM10:00にしてほしいです！！	現状では8：45～22：00（中央図書館・通常開館）となっています。 「24 時間開館中止」の件については，図書館においても事前に学生の意見を聞き，全学の先生の了承も得て中止の運びとなりましたので，しばらくはこの利用時間帯でお願いします。 夏季休業時においては中央図書館・自然科学図書館において，長期貸し出し実施しております。ご利用下さい。
	自然研図書館の24時間営業の再開。	
	図書館で飲み物がのめるスペースを作ってほしい。	
	図書館の付帯設備の充実。 例)自動販売機の設置	
	中央図書館の開館時間が～22:00に延びたのは良かった。	
	図書館の時間延長。	
	図書館の利用時間の延長。	
	テスト期間中などに、夜間も利用できる勉強のスペースがあると助かります。	
	自然研の図書館を、テスト期間(7～8月、1～2月)だけでも、24H営業にしてほしい。	
	鶴間キャンパスの図書室で長期貸出サービスを始めてほしいです。	
	医学類の図書館を利用しやすくしてほしい。	
就職	就職内容をもっと伝わりやすくしてほしい。	就職支援室では，本学への求人情報についてＨＰで公開し，企業説明会等の各種ガイダンスを実施しています。本学の卒業生による説明会や，直接職場への訪問への対応できる先輩の紹介も行っています。ちょっとした就職への不安でも，専門のアドバイザーが相談に乗りますので，気軽に訪問下さい。
	先輩の就職状況を教えてほしいです。	
	比較や就活の支援。	
	今の不況の中、将来の就職への不安がとても大きいです。 大学へは、そのあたりの支援を今にましてお願いしたいと思います。	
	就職支援をしっかり行ってほしい。	
	就職に関する情報。	
法学類	取得単位上限を引き上げてほしい(法学類)	履修登録の単位数の上限は，学生の予習・復習時間も考えて設定しておりますので，上限をあげるのは好ましくないと考えます。
学校教育学類	・なるためノートの存在理由が全くわからない。アドバイス教員にはこの制度についてあまり理解できていない教員もいると思うので、やめるべきだ。 ・また、なるため文庫の貸し出し期間が1週間ってのが短いと思う。図書館と同じ2週間、又はそれ以上にしてほしい。勉強とバイトで精一杯なので、読むまでに1週間以上かかってしまいます。お願いします。	「なるためノート」は、自学自習活動への支援として、授業以外での知識や経験を積 み重ねて教員としての資質を高められるよう設計しました。教員への制度の周知には さらに努力します。学生の方々も，自分にとってプラスになるような活用方法を考えてみて下さい。 なるため文庫は，現時点では冊数が限られているため，貸し出し期間が１週間となっています。継続貸し出しを希望する場合は延長手続きをしてください。期間の延長についても検討します。
理工学域	自然科学5号館に、冷水機の設置。	衛生面及び維持管理面等の問題により，設置予定はありません。
	自然5号館内の冷房器具の完備、研究室の紹介(授業の一貫)を要望したいと思います。	今年度，５号館講義棟全講義室でエアコンを設置しました。研究室紹介については，授業としての実施は困難ですが，数物科学類物理学コースがニュートン祭に合わせて実施しているほか，数学コースでも実施するなど，各コースごとに対応しています。
	理学部棟の冷房施設。給水機。	上記の回答をご参照ください。
	理学部棟の水道。	ご質問の内容が不明なため，回答いたしかねます。
	エアコンを全室完備して欲しい。	上記の回答をご参照ください。
	自然研に休日でも入れるカードを一年生の時から利用できるとよいと思う。	平日は午後8時まではカードがなくても入館できます。1年生の間は共通教育の授業がほとんどで，夜遅くに自然科学研究棟に入館することはほとんどないと考えて，2年生からの利用としています。

医薬保健	鶴間キャンパスに、もっと自主的に勉強できるスペースが増えたら嬉しい。 あと旭町に住んでいるので外が暗くなってから鶴間坂を通って帰るのが不安なので、鶴間←→角間のシャトルパスで旭町や若松で降りれる場所を作ってくれると夜遅くまで学校で勉強できて、良いなと思う。	学生さんからの意見をもとに，空き時間に自習室として利用できる講義室を1室増やしました。 また，厚生会館2階の開放等も検討しています。
	保健学類についてですが、2、3年生に学業の負担がかたよりすぎだと思う。 1年の時、平日は「授業なし」というような曜日もあったので、2年3年での授業にふりわけられたらよかったと思う。 保健学類の人でも留学しやすくしてほしい。	保健学類ではそれぞれの医療分野においてその知識と技術をもって，医療において国家資格を取得するための授業及び教員を充実させてきました。一年次から専門分野へ段階的に目的を達成できるように，カリキュラムが組まれています。例えば一年次から高度な専門分野を多く配置することは，基礎学力がないと授業を理解する上で支障が生じます。したがって，配置されたカリキュラムに沿って，段階に応じた学習をしっかり行うことが有効な学習方法ではないでしょうか。
	よるまっしでは正確な情報を教えて下さい。	よるまっし担当の学生委員では，より正確な情報をお伝えできるよう努力していきます。
その他	期待・要望があっても、どうせ何も変わらないと思う。	このアンケートは，在学生の経済状況や本学で実施している支援において，その浸透状況を確認し，その支援をどのように充実させるか検討する資料として，隔年で実施しています。平成２２年度では，授業料免除の完全実施や就職支援の更なる充実を行っています。特に，自由記述に記載される意見においては，担当の部署において大いに参考とさせていただき，１つでも解決可能な事柄は時間がかかっても対応したいと考えております。内容によっては，お金のかかること，大学内部のみで解決できないこともありますが，前向きに検討したいと思います。ついては，この主旨にご理解いただき，今後とも，各種アンケートにはご協力願います。
	このようなアンケートの廃止。	
	アンケートが面倒くさい！！！	
	アンケートの回答方式は今後考えた方がいいと思います。	
	現状でよし。	
	学生らへの委任と放任の境目を見極めること。	
	学生全体が大学をよりよい場所にしようとする意識。	
	可能な限りでも、学生の要望に応えよ。	
	単位を全てSにしてほしい。人間だもの。	
	形だけのものはけっこう。	
	寛容さが大事。	
	授業時間減らして。	
	来ると勉強への意欲が自然と湧いてくるような雰囲気のある大学になるように期待している。	
	学生が有意義な生活を送ることができるよう努力をしてくださること。	
	自治会をどうにかしてほしいです。自然の侵食をどうにかしてほしいで	
	自治会の活動をもう少し自重させてください。	
	自治会の制限を減らして、学生がもっと活発に活動できるようにしてほし	
	部活と勉強の両立をしやすい環境。1限と5限を減らしてほしい。	
	将来有望な人材を育成するための支援。	
	先生方ともっと気軽にお話できるような環境づくり。	
	専門的な知識・技術が身につくことを楽しみにしている。	
	自分からすすんで行動をすれば、それにあった対処や希望通りにできるような環境にしてほしいです。	
	資料が分かりにくい。どうすればいいか分からないものが多々あった。	
	冷房がついている時はドアを閉めるよう心がけてほしい。	各講義室に掲示して呼びかけておりますが，徹底していきたいと考えております。
	学部、学科制の変更に伴う教員の制度に関する理解をもう少し深めてほしい。	ＦＤ研修会を様々な単位（大学全体，学域，学類等）で実施し，情報の共有・理解に努めています。
	ロッカーの貸し出しをしてほしい。	一部の学類では，Ｈ２１年度から，１年後期に貸し出しを開始しています。１年前期は自然研の建物にほとんど来ないので，貸出時期は１年後期からとしています。